

【資料3】公共施設に関する町民アンケートの集計結果及びその分析

(1)調査の目的

「八雲町公共施設等総合管理計画」の策定を行うにあたり、広く町民の皆様から公共施設の利用状況や公共施設に対するご意見をお伺いし、計画に反映させる目的で実施いたしました。

(2)調査方法

調査期間	平成28年7月8日（金）～7月31日（日）		
調査対象	住民基本台帳より無作為に抽出した満18歳以上の町民3,000名		
調査方法	郵送による配布・回収		
有効配布数	2,992票		
回答数	818票	回収率	27.3%

「公共施設」に関する町民アンケート調査票

① 回答していただく方あなたご自身について、お伺いします。

【問1】あなたの性別について

1 男性 2 女性

【問2】あなたの年齢について

1 20歳未満 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳以上

【問3】あなたのお住まいの地域について

1 八雲地域（市街地）

元町・本町・東町・豊河町・富士見町
東雲町・内浦町・住初町・末広町・相生町
宮園町・三杉町・出雲町・栄町・緑町

2 八雲地域（郊外）

黒岩・立岩・山崎・花浦・鉛川・上八雲
春日・大新・熱田・浜松・山越
野田生・桜野

3 落部地域

落部・栄浜・入沢・下の湯・上の湯・旭丘
東野・わらび野

4 熊石地域

関内町・西浜町・鳴神町・雲石町・根崎町
壘岩町・平町・大谷町・鮎川町・見日町
黒岩町・泊川町・館平町・相沼町・折戸町

【問4】あなたの家族構成について

1 単身 2 夫婦のみ 3 親と子 4 三世代同居 5 その他

【問5】あなたの職業について

1 農林業 2 水産業 3 自営業（農林水産以外） 4 会社員
5 公務員 6 パート・アルバイト 7 家事専業
8 無職 9 その他

② あなたご自身の公共施設の利用状況について、お伺いします。

【問6】八雲町が設置した公共施設をどの程度利用していますか。別紙（2ページ公共施設等の分類）をご覧になりながら、施設の種類ごとに利用回数が近いものを、当てはまる欄に○を付けてください。同じ分類の中で複数の施設を利用した場合は、最も利用頻度の高かった施設をお答えください。3又は4に、1つも○を付けなかった方は、【問8】へお進みください。

利用頻度 施設分類	1 良く利用する (週に1回以上)	2 たまに利用する (月に1回程度)	3 あまり利用しない (年に数回程度)	4 ほぼ利用がない
行政施設				
保健・福祉施設				
医療施設				
地域会館				
産業・観光施設				
社会教育施設				
体育施設				
学校教育施設				
公園施設				
環境衛生施設				
その他の施設				

【問7】「問6」において、「3 あまり利用しない」「4 ほぼ利用がない」に、1つでも○がついた方にお聞きします。どういう理由で利用が少なかったのですか。次の中から、当てはまるもの全てを選んで番号を○で囲んでください。

1 自分の生活上、利用する必要がない	2 場所が不便で、行きづらい、遠い
3 施設サービスの内容を知らない	4 施設の利用料、使用料が高い
5 開館時間が合わない、使いづらい	6 施設が老朽化している
7 民間や他の町などの施設を利用	8 施設があることを知らない
9 その他 ()	

③ はじめの「八雲町の公共施設の現状と課題」をご覧になって、公共施設の現状について、あなたの考え方をお伺いします。

【問 8】町の今後 30 年を見据えて、公共施設を維持及び更新していくための費用を試算したところ、老朽化に伴う大規模改修や更新に多額の財政負担が必要となります。この現状や課題について、どのくらい関心がありますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 強い関心を持っている | 2 少し関心を持っている |
| 3 あまり関心を持っていない | 4 全く関心を持っていない |

【問 9】将来の人口減少を踏まえ、公共施設を最適化するためには廃止や統合が必要不可欠となります。あなたは、どのように思いますか。

- | | |
|--|----------------------|
| 1 やむを得ない | 2 多機能・複合化※1しながら推進すべき |
| 3 現在保有している施設全てを長寿命化※2して維持すべき（廃止や統廃合はしない） | |

※1：多機能化は1つの施設を複数の用途に使い分ける。複合化は1つの建物に複数の施設を集約させること。

※2：壊れたら直す「事後保全」から計画的な修繕や改修による「予防保全」により、施設を長持ちさせること。

【問 10】やむを得ず、公共施設の廃止や統合を行うとしたら、どのような点を考慮したら良いと思われますか。あなたの考えに近いものを次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 利用者が少ない | 2 建物・設備が古くなっている |
| 3 維持管理費用が高い施設 | 4 近い範囲に同じような施設がある |
| 5 一部の個人・団体の利用が多い施設 | 6 地域間の配置バランス |
| 7 民間や他の町で同様のサービスがある | 8 その他（ ） |

【問 11】公共施設の老朽化に伴って、建て替えの時期を迎えた場合、廃止や統合をした方が良いと考える施設として、あなたが思う主なものを次の中から2つまで選んでください。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 保健・福祉施設 | 2 医療施設 | 3 地域会館 |
| 4 町営住宅 | 5 産業・観光施設 | 6 社会教育施設 |
| 7 体育施設 | 8 学校教育施設 | 9 公園施設 |
| 10 環境衛生施設 | | |

【問 1 2】 次の公共施設の中で、将来にわたって廃止や統合をせずに、存続させたい施設として、あなたが思う主なものを5つまで選んでください。

1 保健・福祉施設	2 医療施設	3 地域会館
4 町営住宅	5 産業・観光施設	6 社会教育施設
7 体育施設	8 学校教育施設	9 教職員住宅
10 公園施設	11 環境衛生施設	12 その他 ()

【問 1 3】 今後、町が行う公共施設に対する取組として、あなたが重要であると思うものを次の中から2つまで選んでください。

1 長寿命化	2 多機能化・複合化	3 利用者負担の増加
4 維持管理経費の節減	5 廃止・統合	6 既存施設の有効活用

④ 公共施設の今後のあり方について、自由なご意見や提案をお聞かせください。

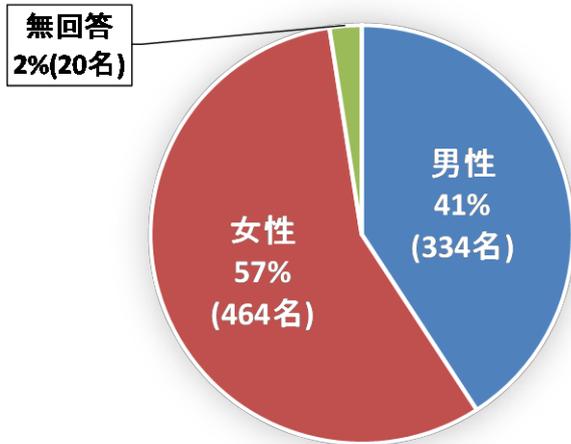
【問 1 4】 最後に、公共施設に関するご意見、ご要望があればご自由にご記入ください。

※ アンケートにご協力いただき、大変ありがとうございました。

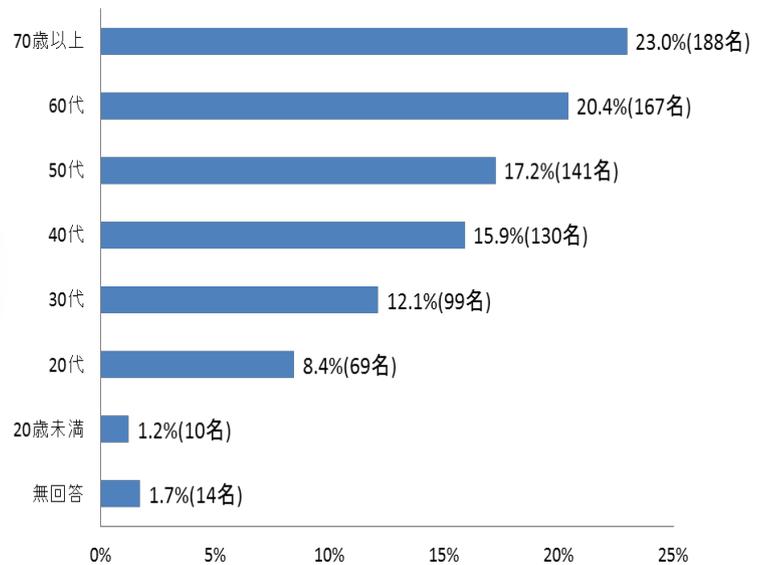
記入していただいた調査票は、平成28年7月31日（日）までに、同封の返信用封筒に（総合計画策定アンケートと一緒に）入れて、切手を貼らずに投函して下さい。

(3)回答者の属性

ア 性別



イ 年齢



ウ 居住地域

1 八雲地域（市街地）

元町・本町・東町・豊河町・富士見町
東雲町・内浦町・住初町・末広町・相生町
宮園町・三杉町・出雲町・栄町・緑町

2 八雲地域（郊外）

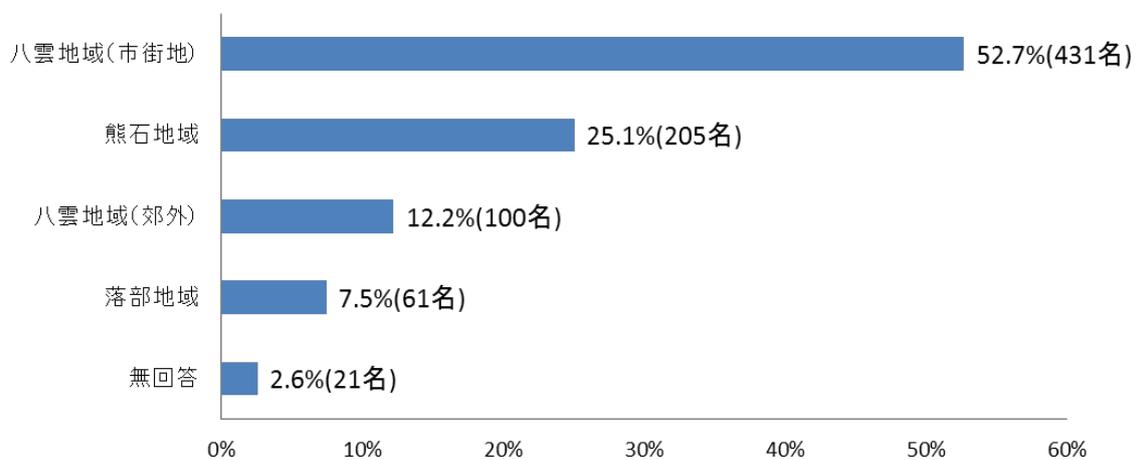
黒岩・立岩・山崎・花浦・鉛川・上八雲
春日・大新・熱田・浜松・山越
野田生・桜野

3 落部地域

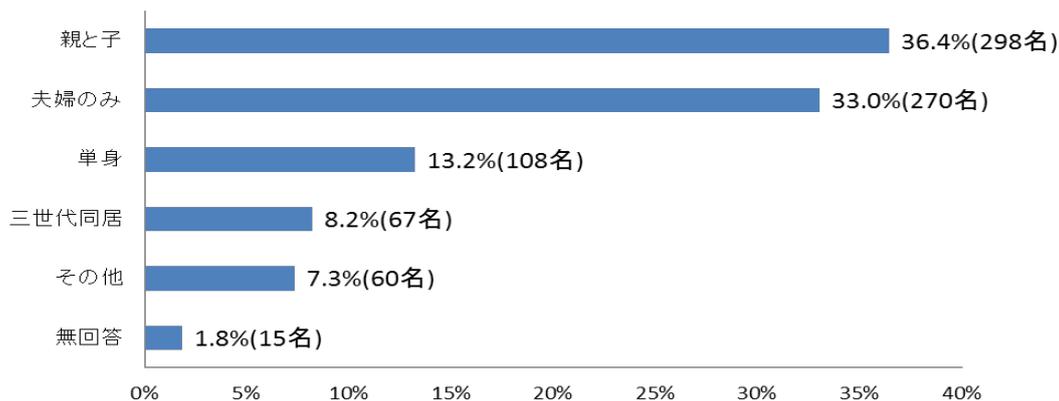
落部・栄浜・入沢・下の湯・上の湯・旭丘
東野・わらび野

4 熊石地域

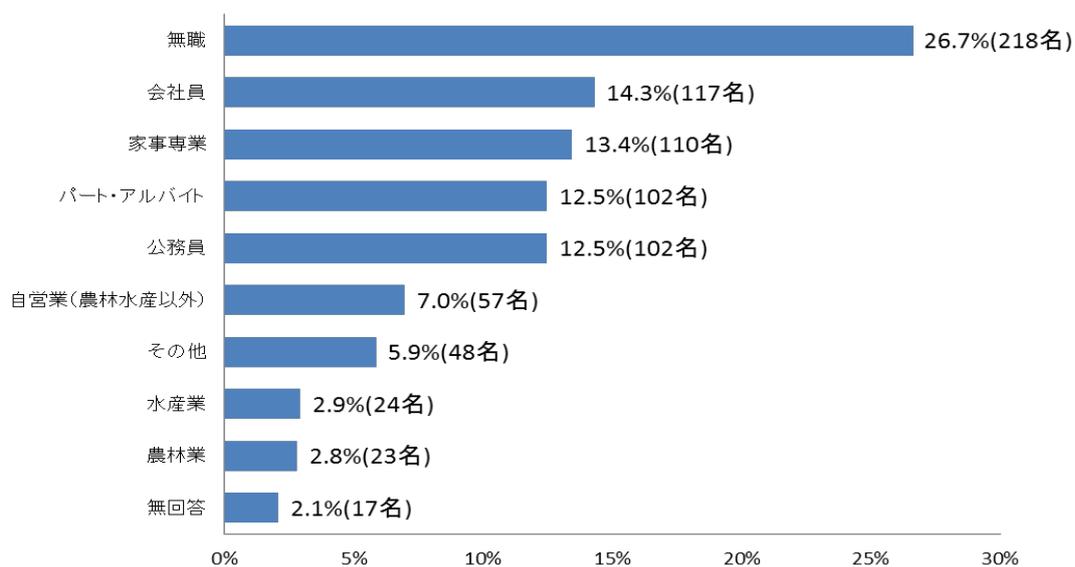
関内町・西浜町・鳴神町・雲石町・根崎町
豊岩町・平町・大谷町・鮎川町・見日町
黒岩町・泊川町・館平町・相沼町・折戸町



エ 家族構成



オ 職業



回答者の属性については、男女比 4 : 6 で女性が多く、年齢は各年代が満遍なく分散しています。居住地では八雲地域（市街地区）の方が半数を占めており、家族構成では「夫婦のみ」「親と子」のみで 7 割を占めています。職業では年金生活者を含む無職の方が回答者の 4 分の 1 を占めています。

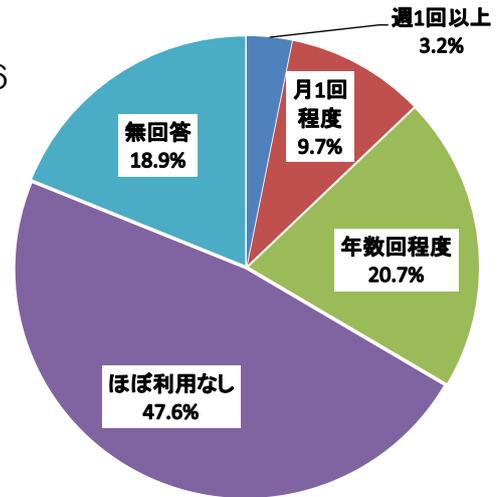
(4) 公共施設の利用状況(全体)

公共施設全体（すべての分類の値を合計したもの）

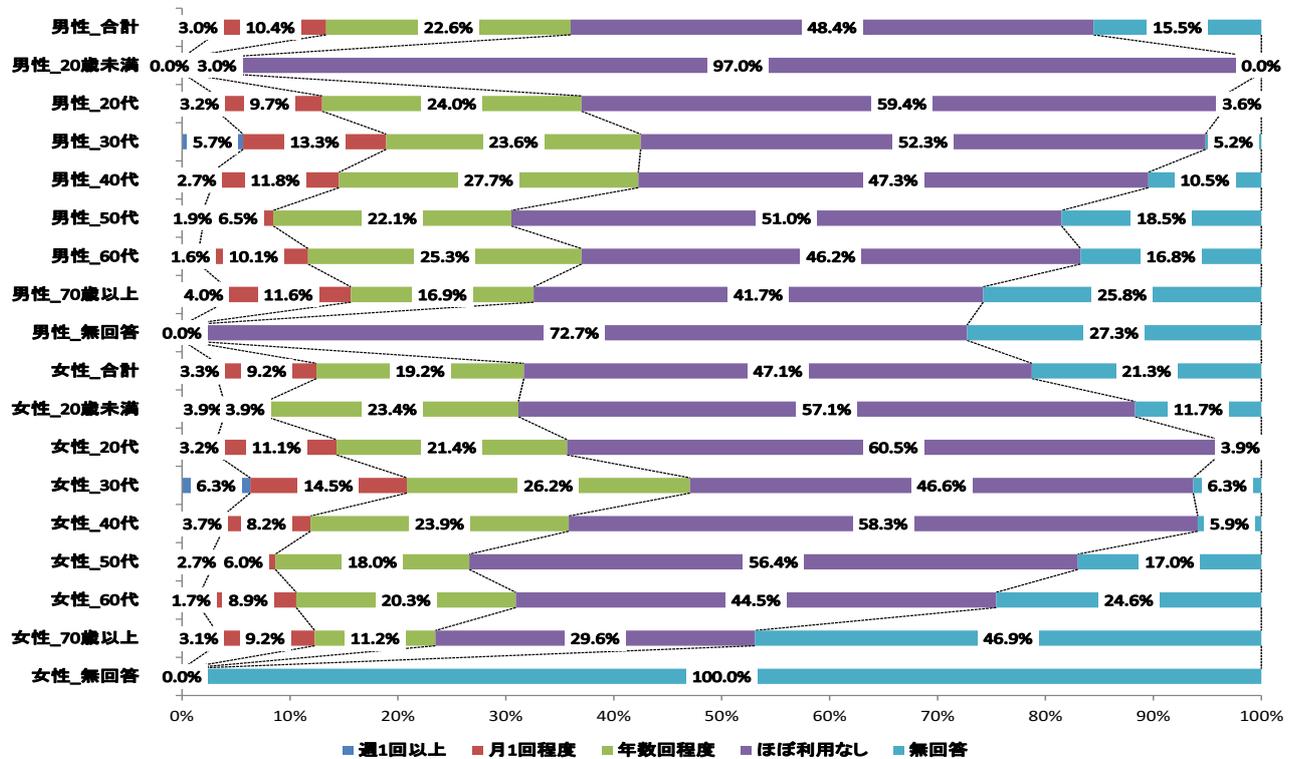
公共施設を年1回以上利用している割合は33.6%となっています。

公共施設を年1回以上利用している男性は36.0%、女性は31.7%となっています。

また地域別では、八雲地域（市街地）が42.5%で割合が最も高くなっています。



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

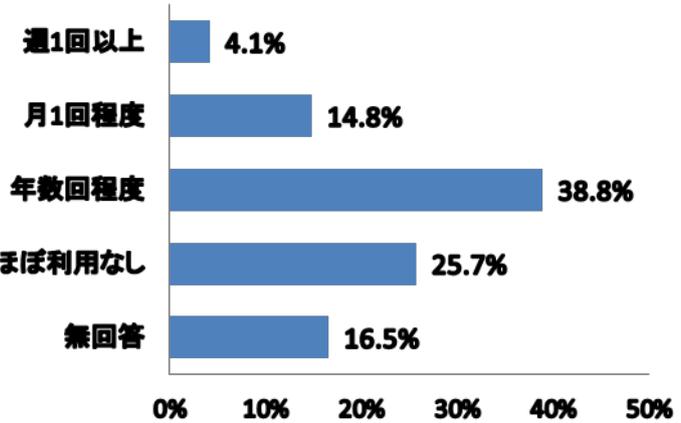


①行政施設の利用状況

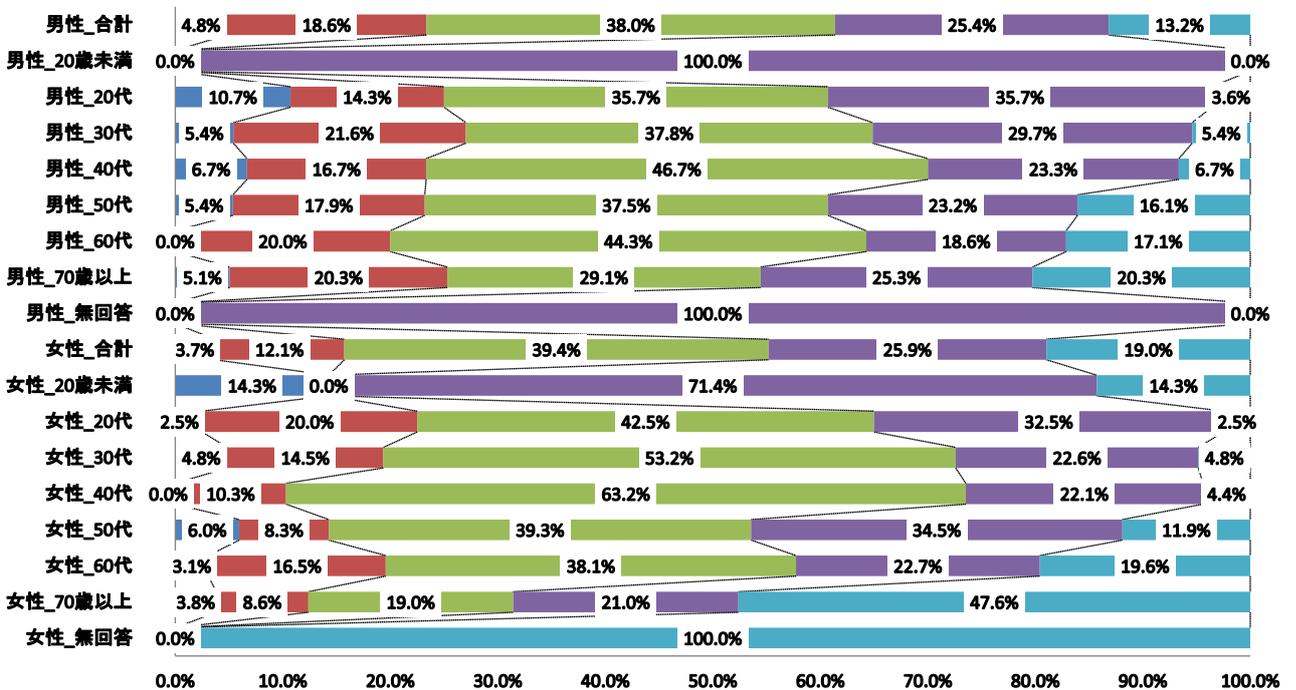
最も多い回答は、年数回程度の38.8%となっています。

もっとも少ない回答は、週1回以上の4.1%となっています。

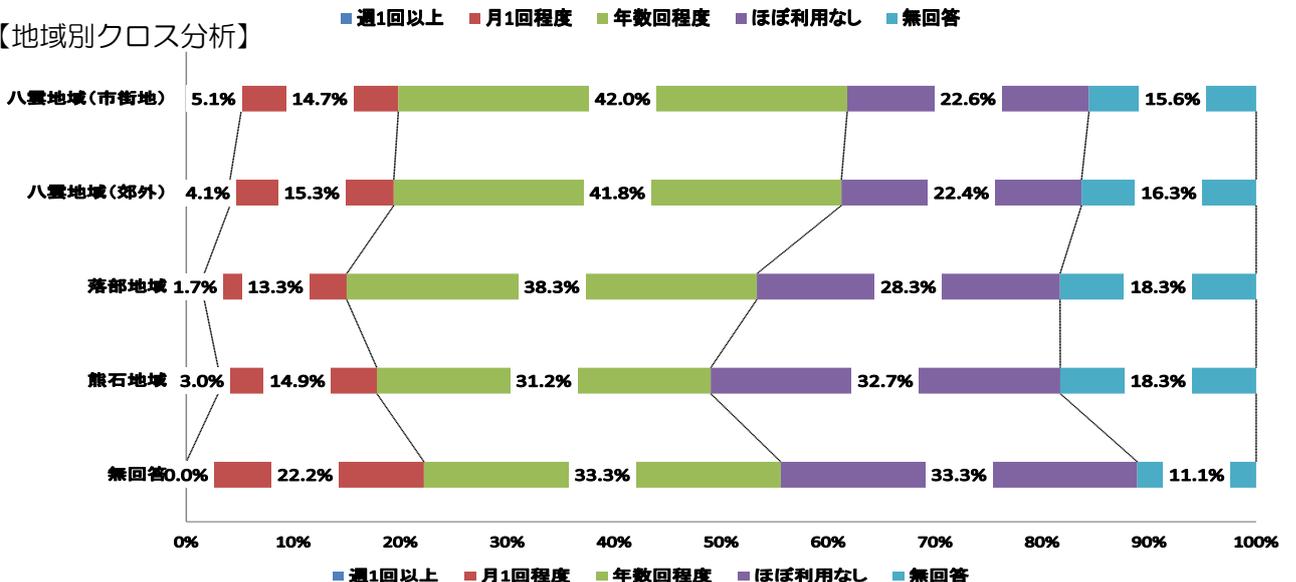
また年1回以上利用している地域は八雲地域（市街地）の61.8%が最も多



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

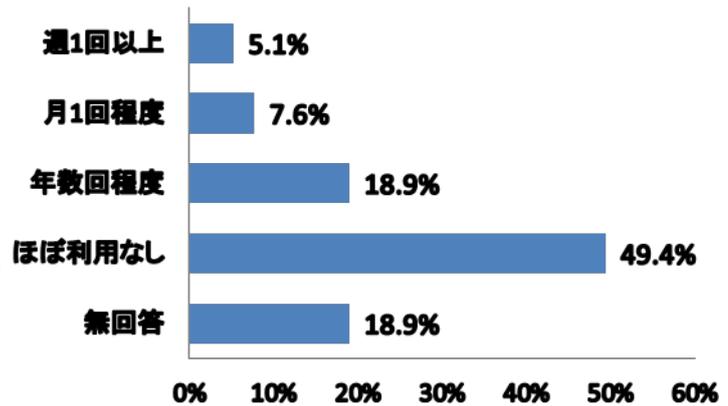


②保健・福祉施設の利用状況

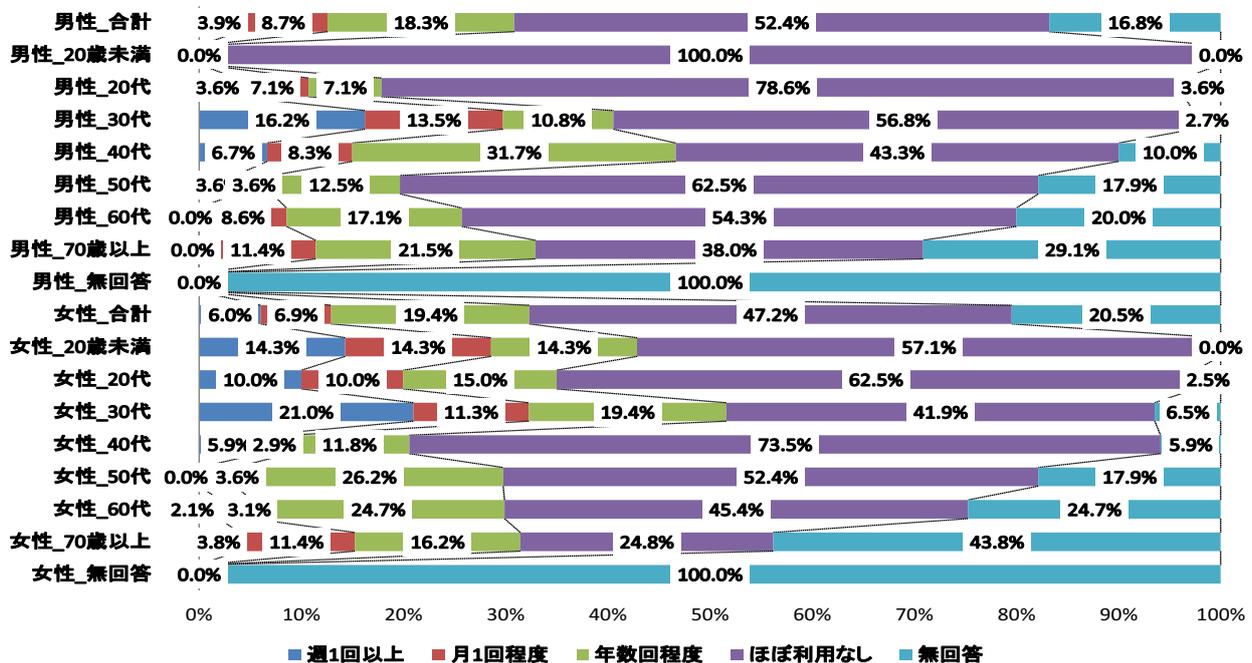
最も多い回答はほぼ利用なしの49.4%となっています。

最も少ない回答は週1回以上の5.1%となっています。

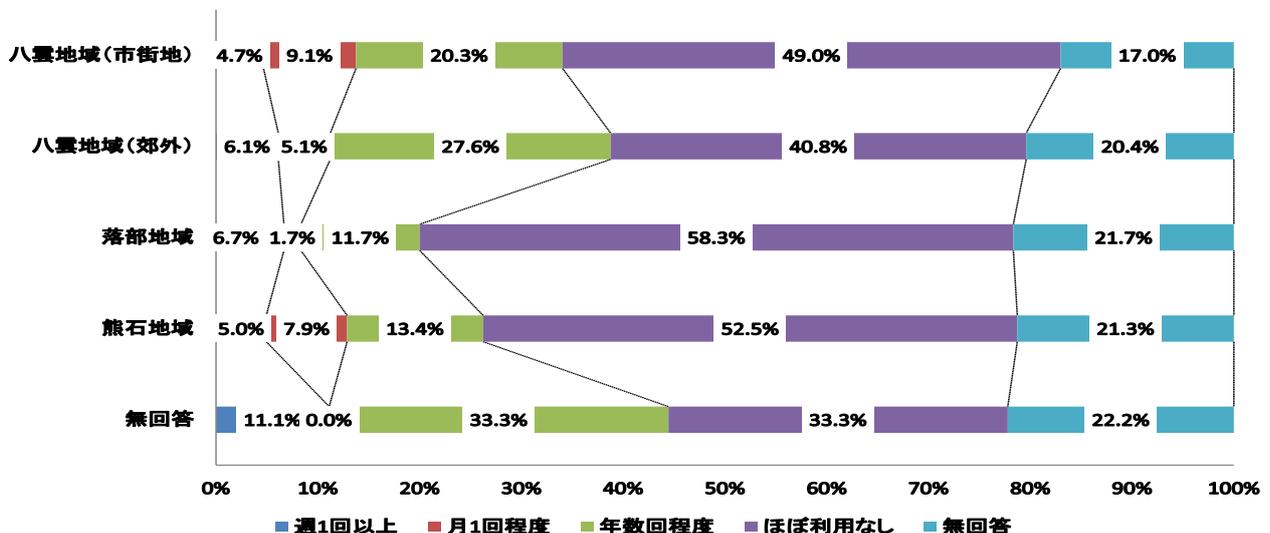
またほぼ利用していない地域は落部地域の58.3%となっています。



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

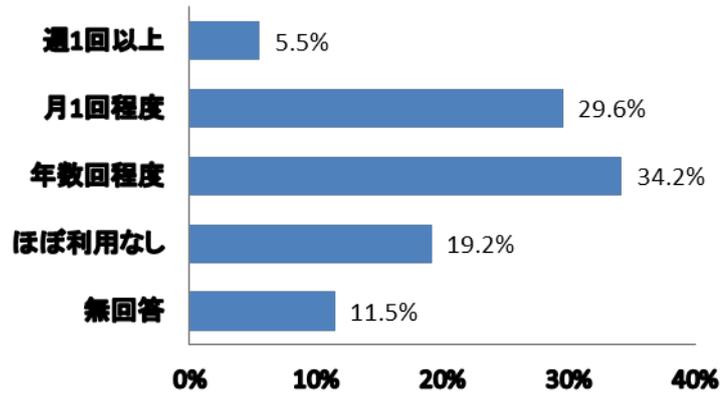


③医療施設の利用状況

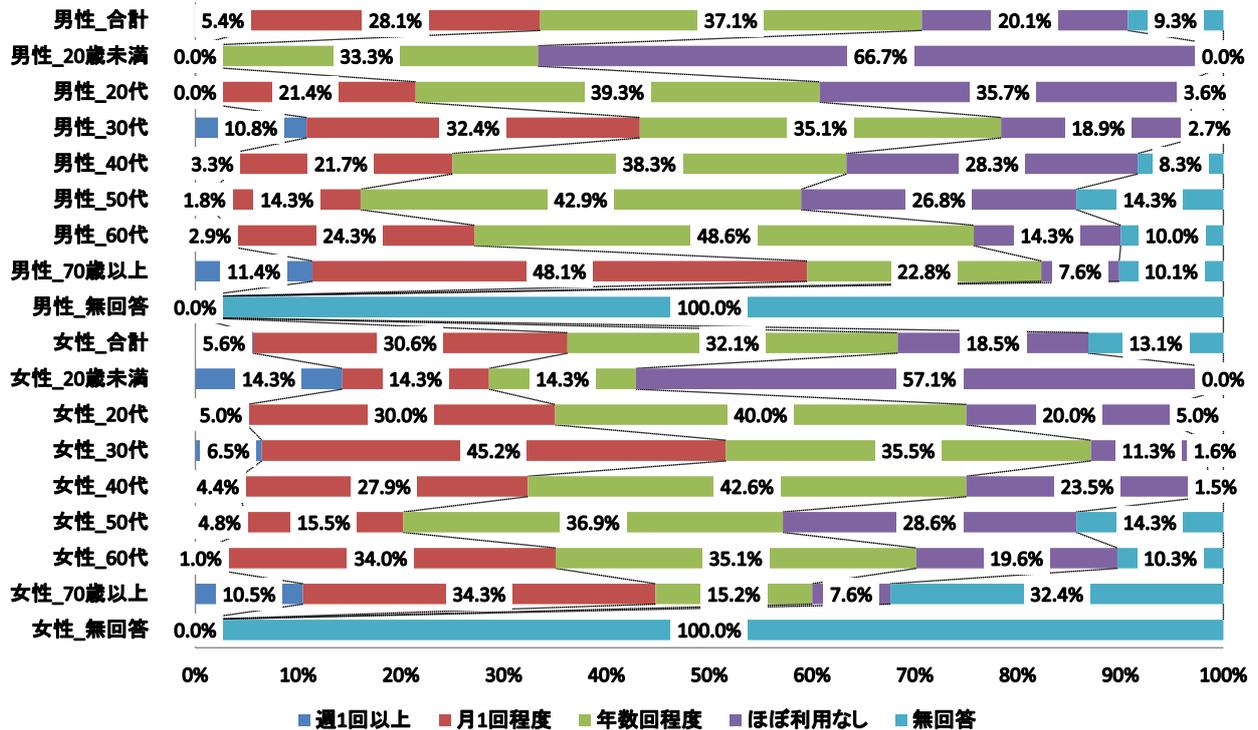
最も多い回答は年数回程度の34.2%となっています。

最も少ない回答は週1回以上の5.5%となっています。

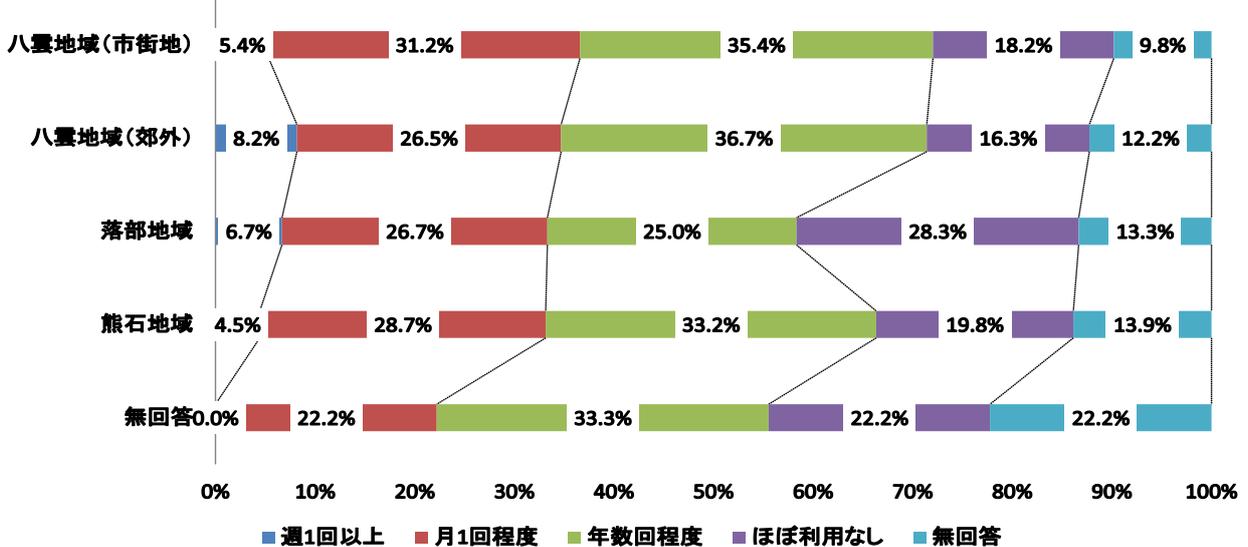
また男性・女性の70歳以上は月に1回以上利用している割合が40%以上となっています。



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

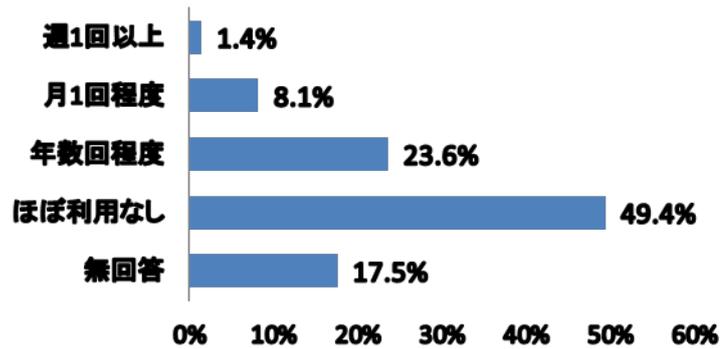


④地域会館の利用状況

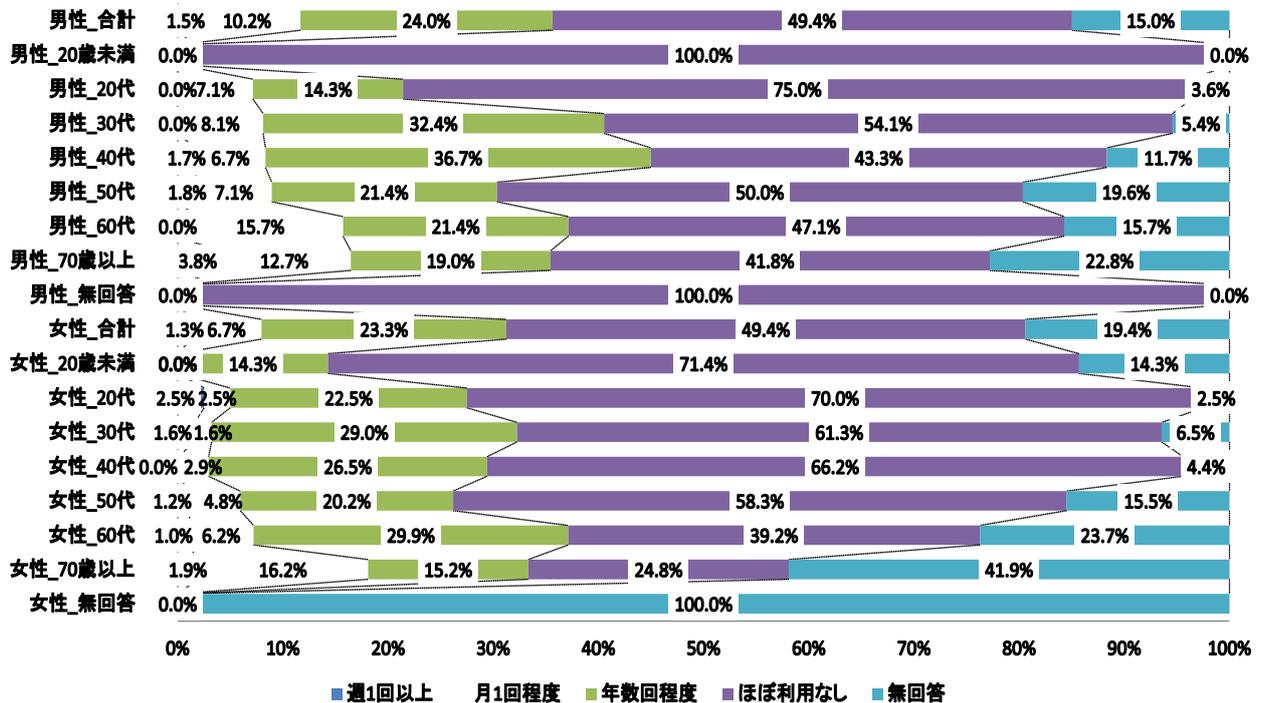
最も多い回答はほぼ利用なしの49.4%となっています。

最も少ない回答は週1回以上の1.4%となっています。

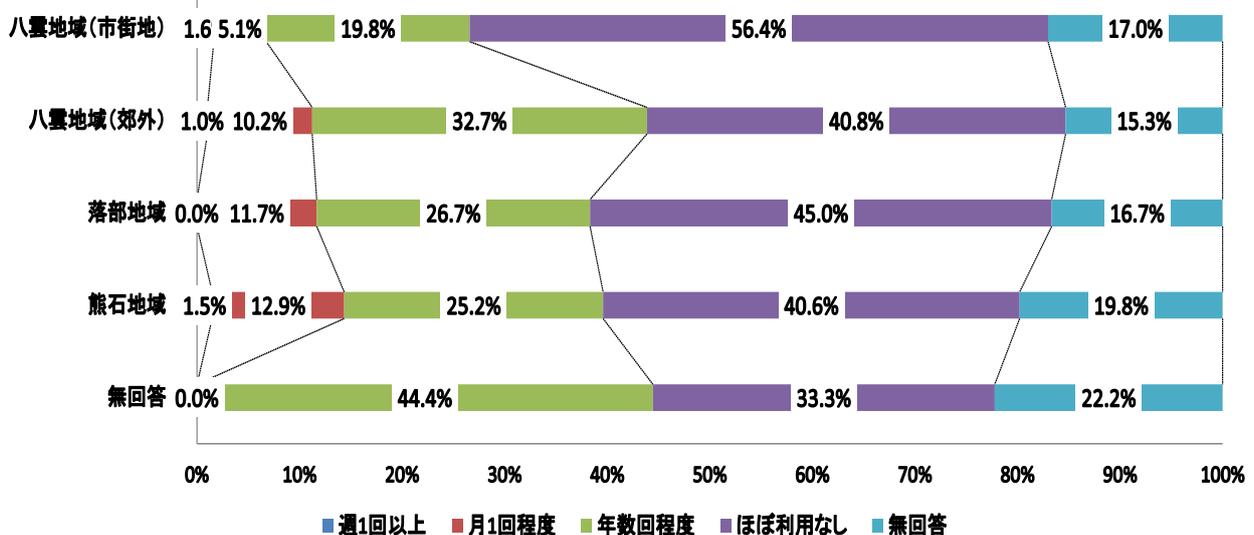
また八雲地域（市街地）以外ではおよそ40%利用しています。



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

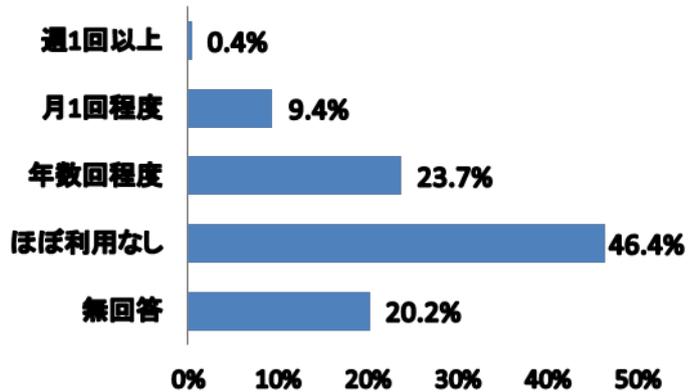


⑤産業・観光施設の利用状況

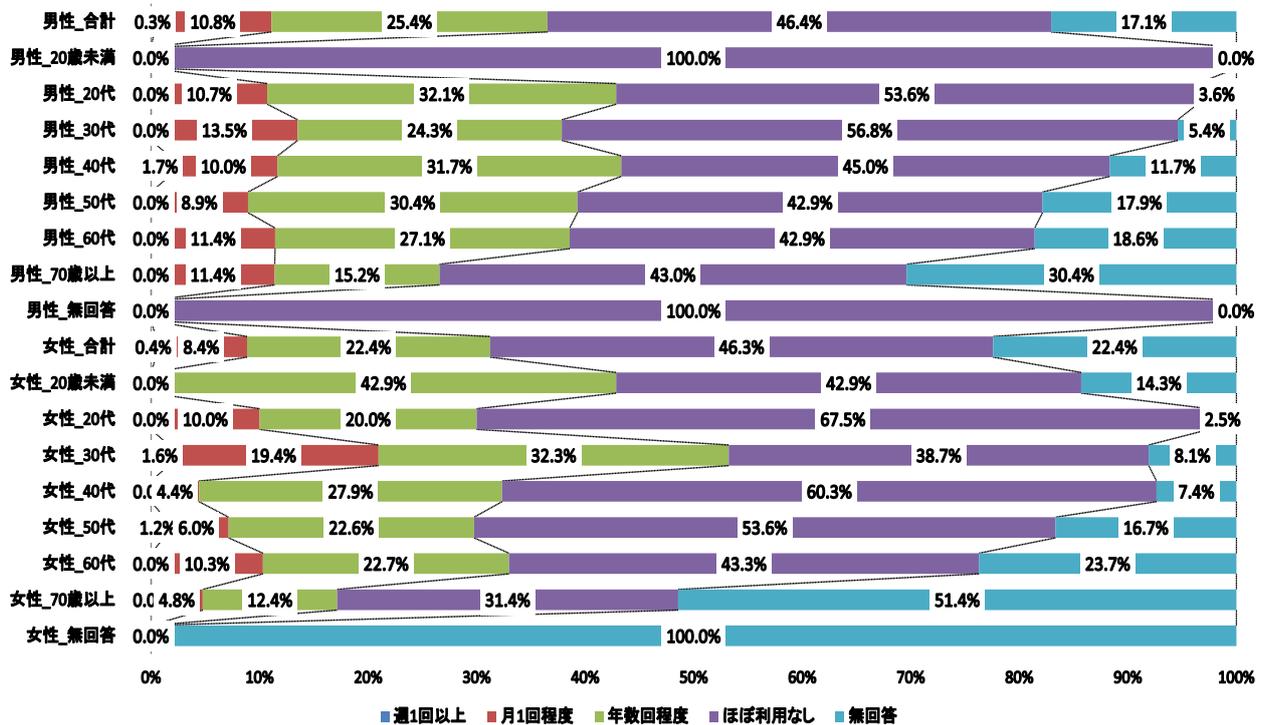
最も多い回答はほぼ利用なしの46.4%となっています。

最も少ない回答は週1回以上の0.4%となっています。

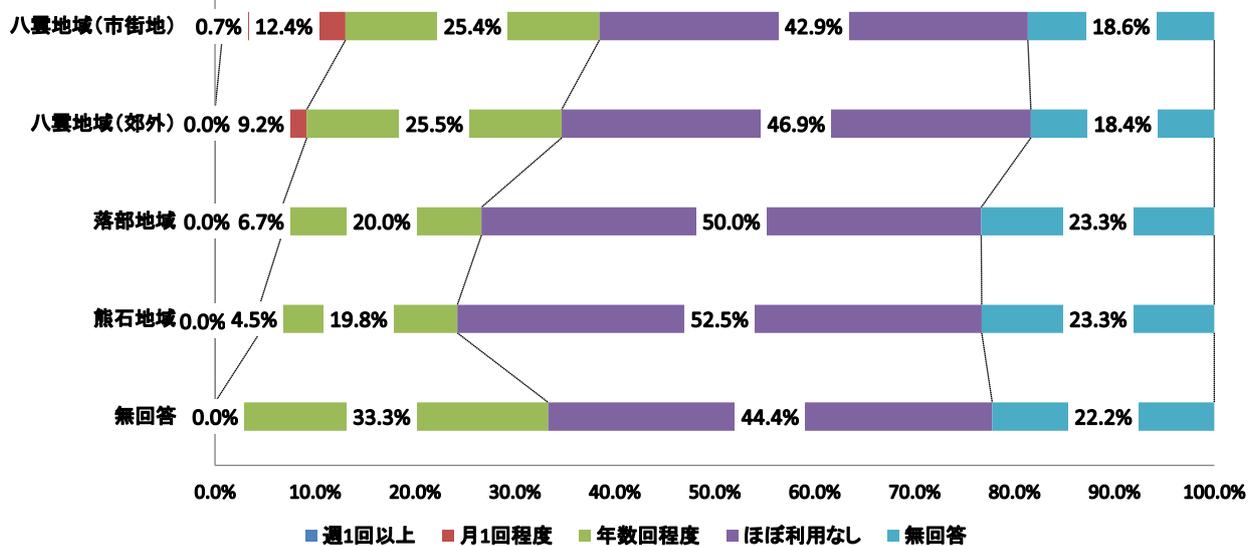
またどの地域も40%以上がほぼ利用したことはありません。



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

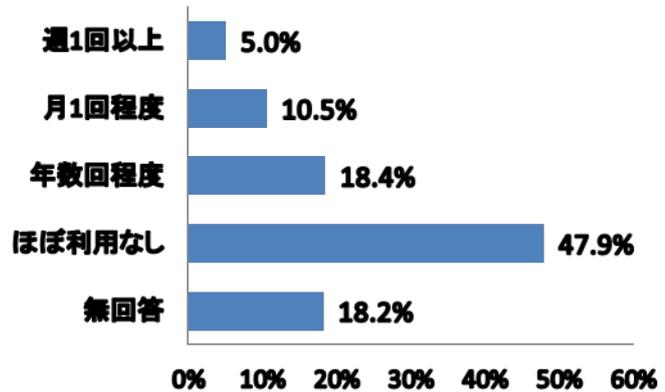


⑥社会教育施設の利用状況

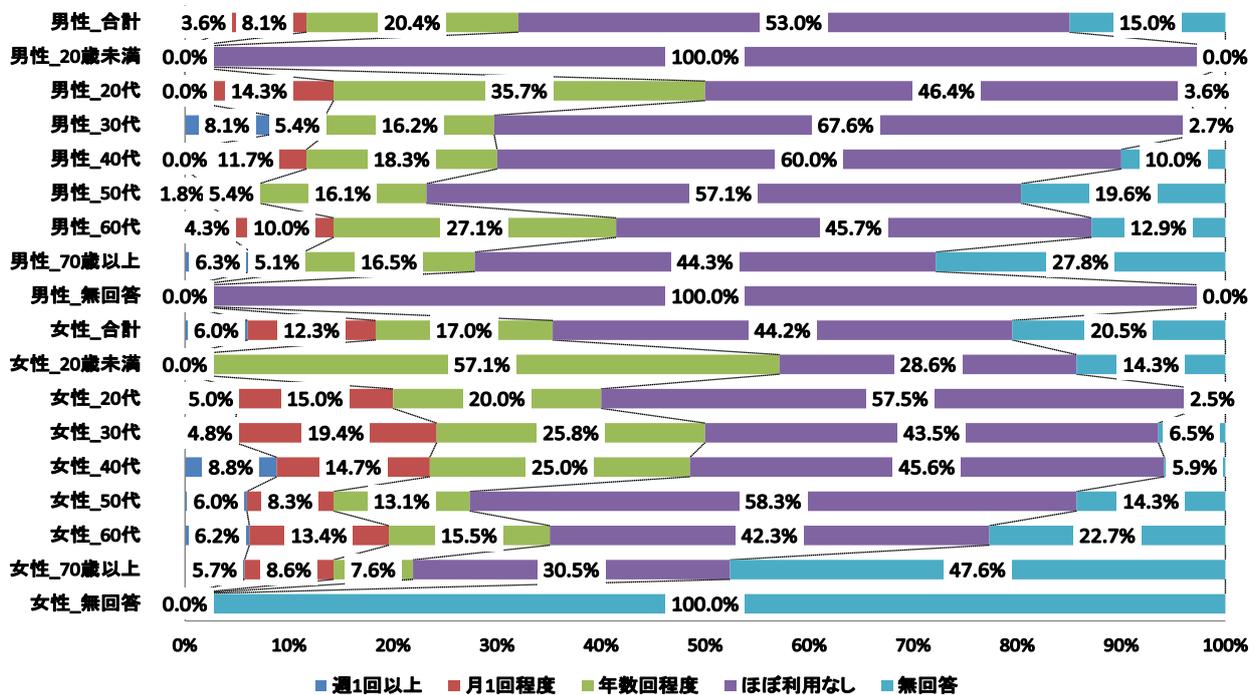
最も多い回答はほぼ利用なしの47.9%となっています。

最も少ない回答は週1回以上の5.0%となっています。

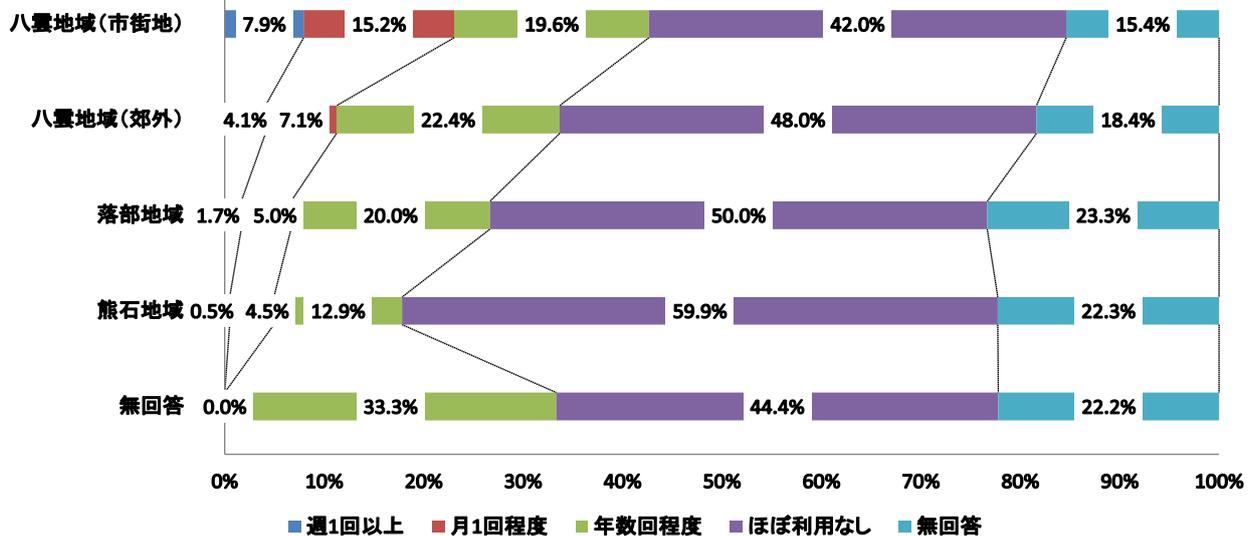
また熊石地域ではおよそ60%がほぼ利用したことはありません。



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

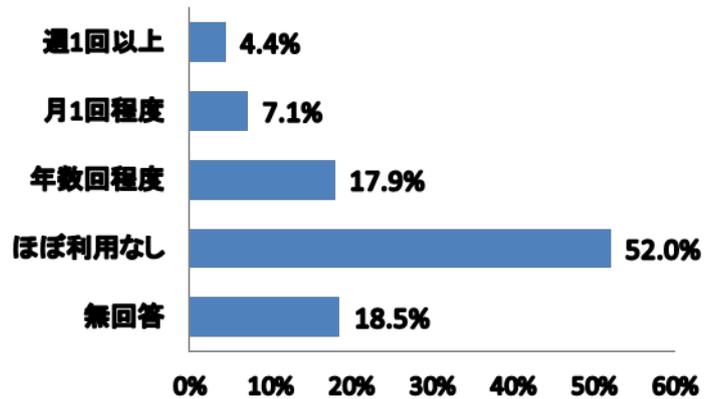


⑦ 体育施設の利用状況

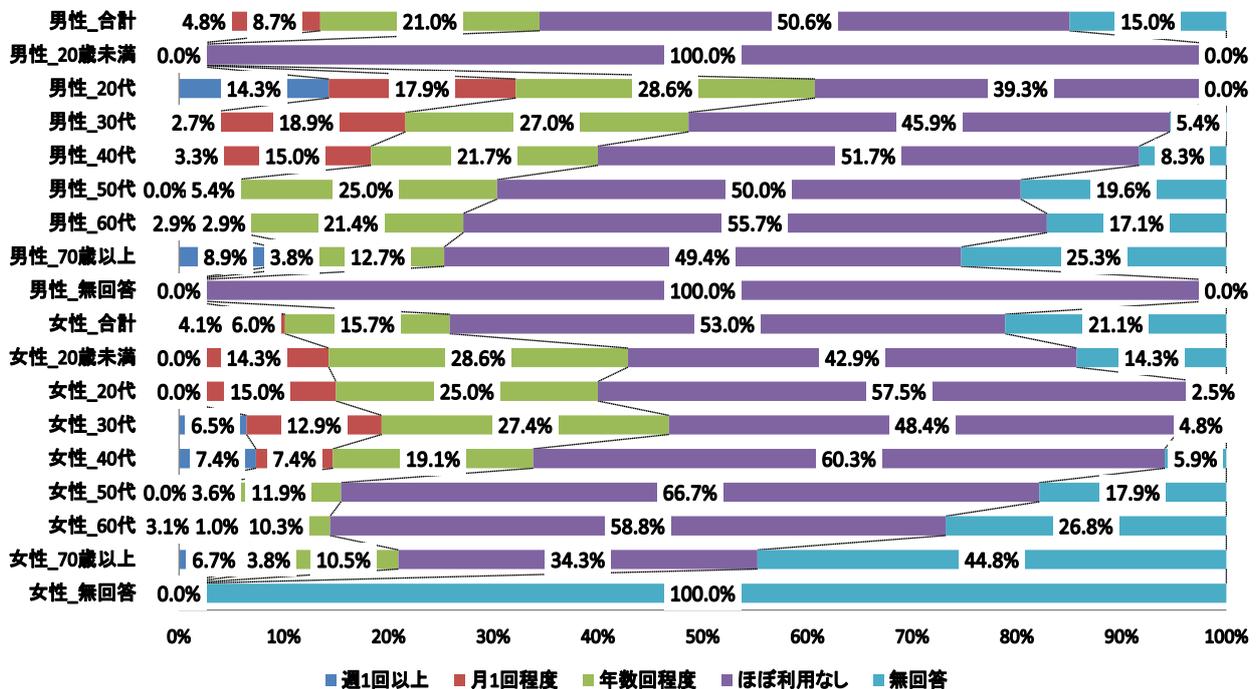
最も多い回答はほぼ利用なしの52.0%となっています。

最も少ない回答は週1回以上の4.4%となっています。

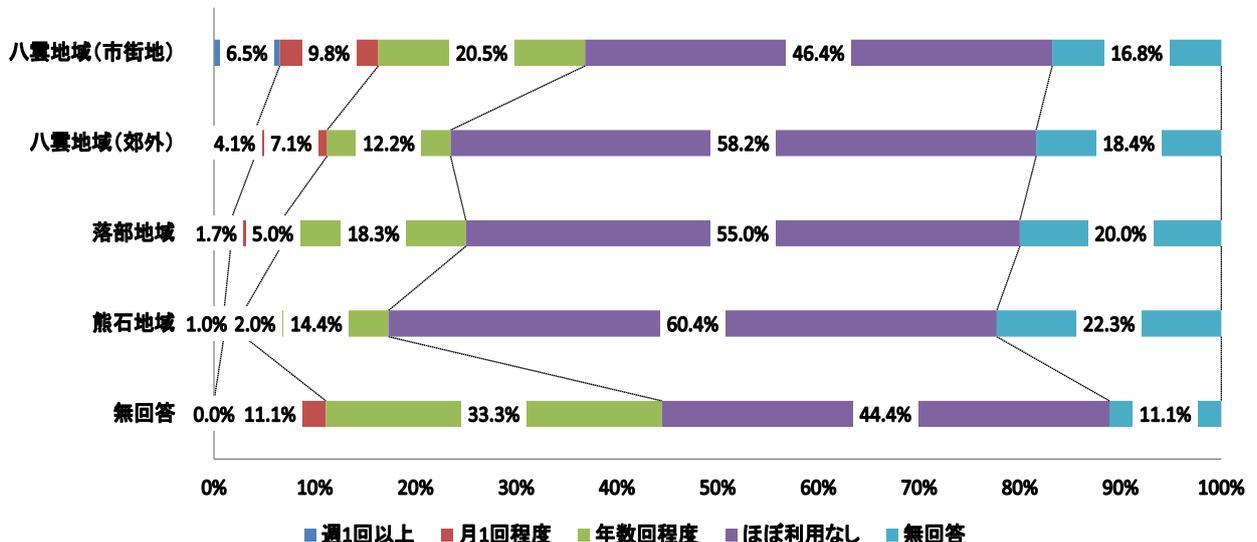
また女性の30代以下は40%以上が利用しています。



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

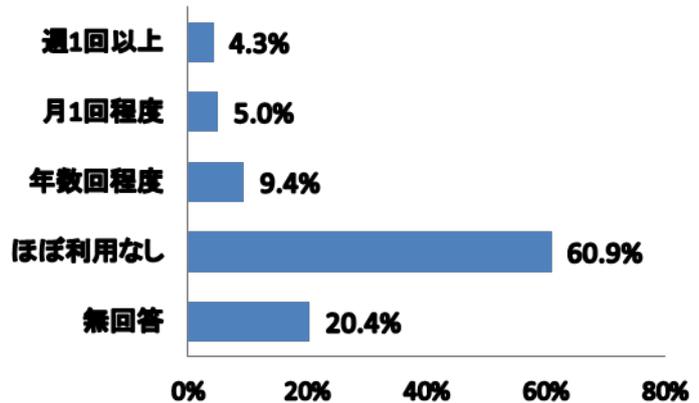


⑧学校教育施設の利用状況

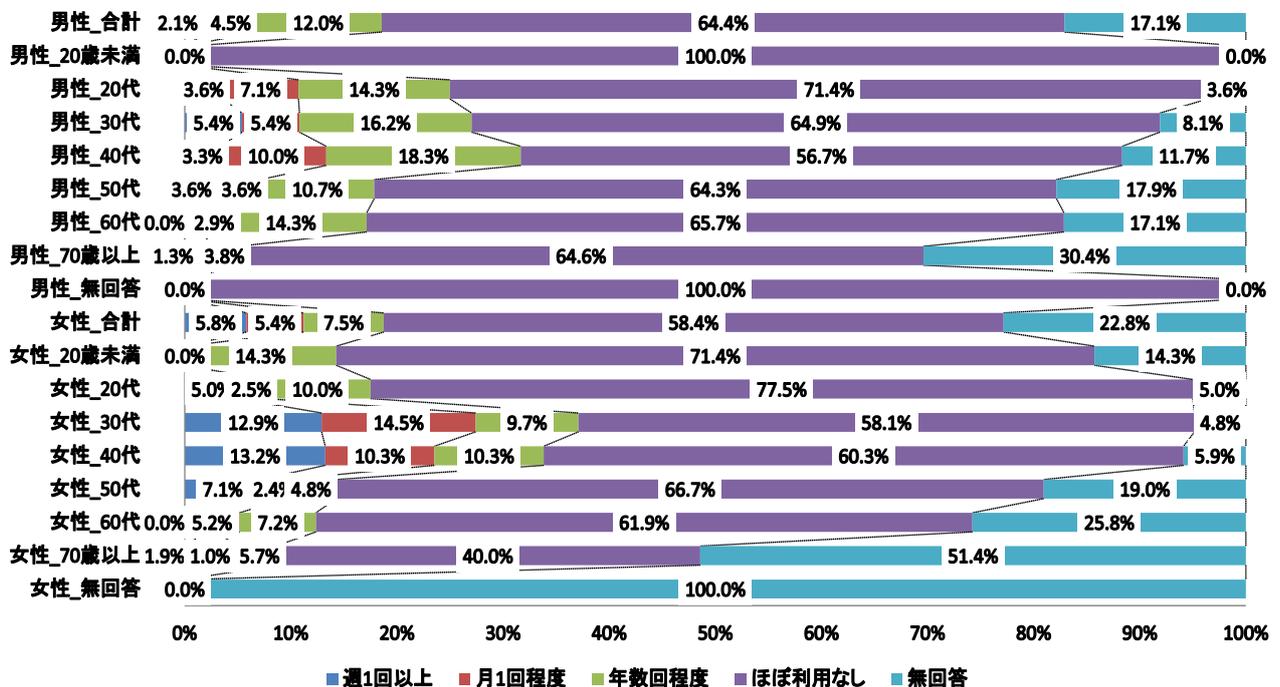
最も多い回答はほぼ利用なしの60.9%となっています。

最も少ない回答は週1回以上の4.3%となっています。

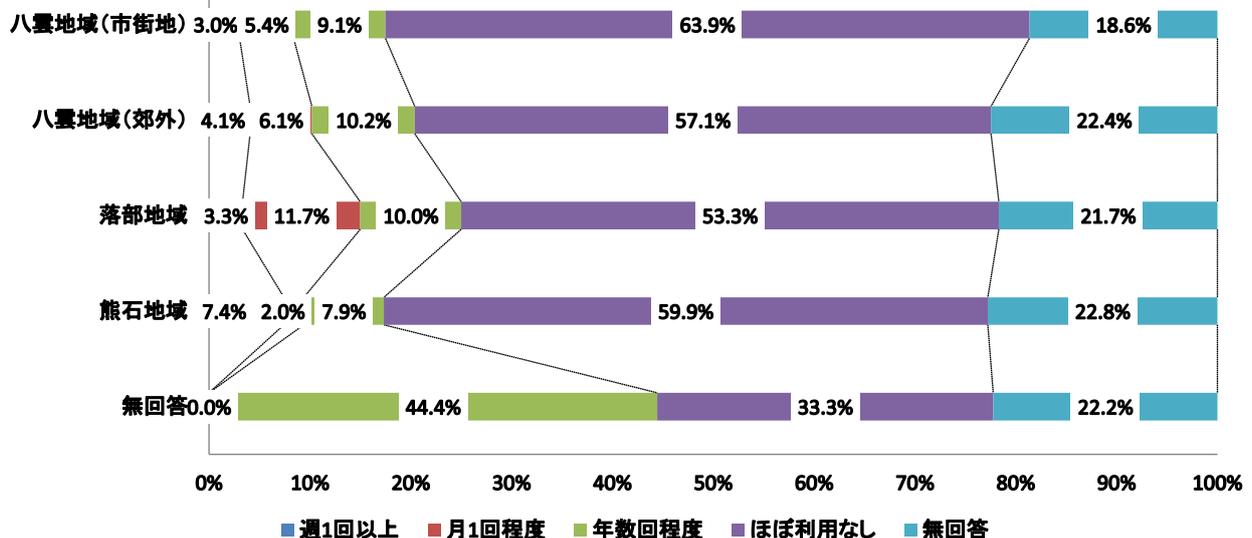
またどの地域においてもほぼ利用しない割合が50%となっています。



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

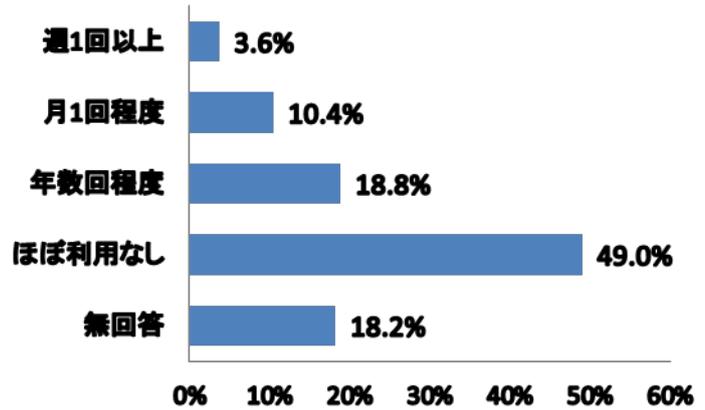


⑨公園施設の利用状況

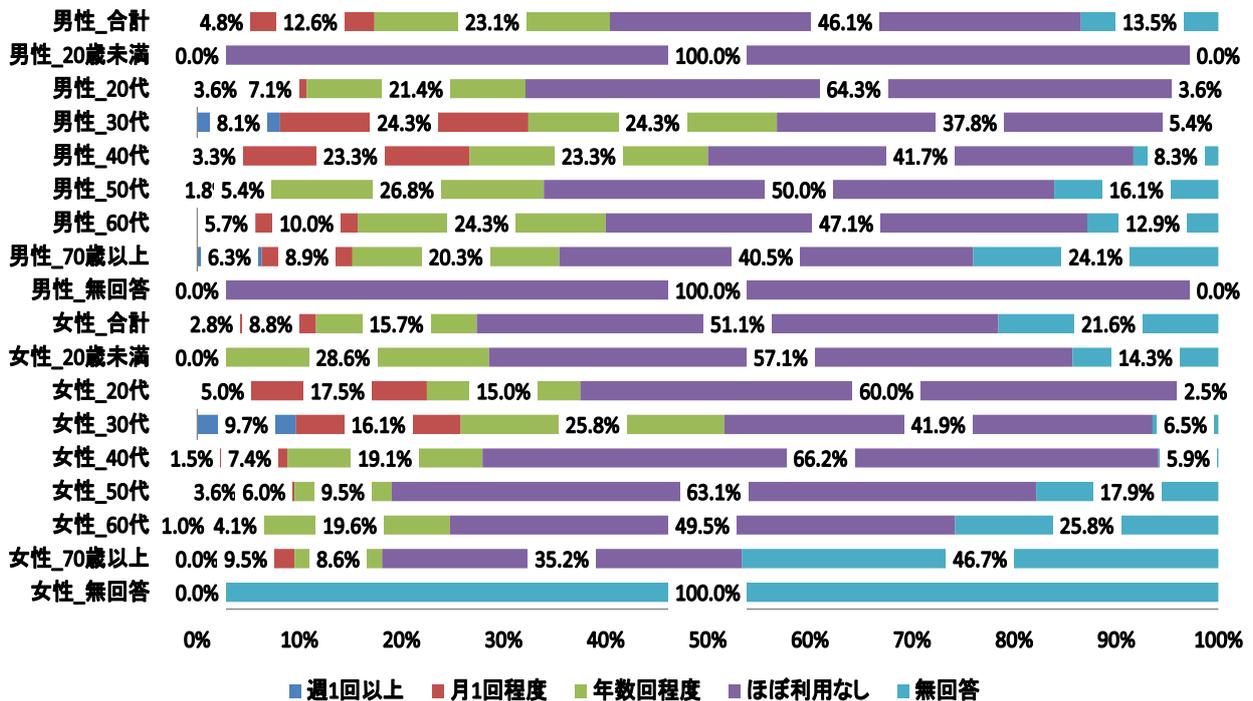
最も多い回答はほぼ利用なしの49.0%となっています。

最も少ない回答は週1回以上の3.6%となっています。

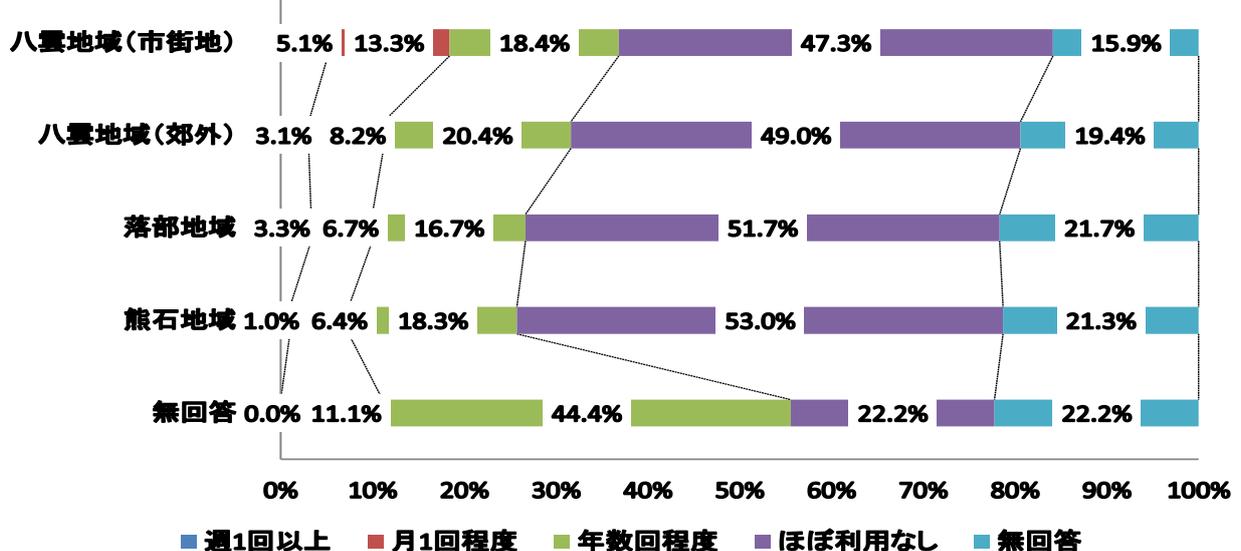
また子育て世代ではおよそ50%の割合で年1回以上利用しています。



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

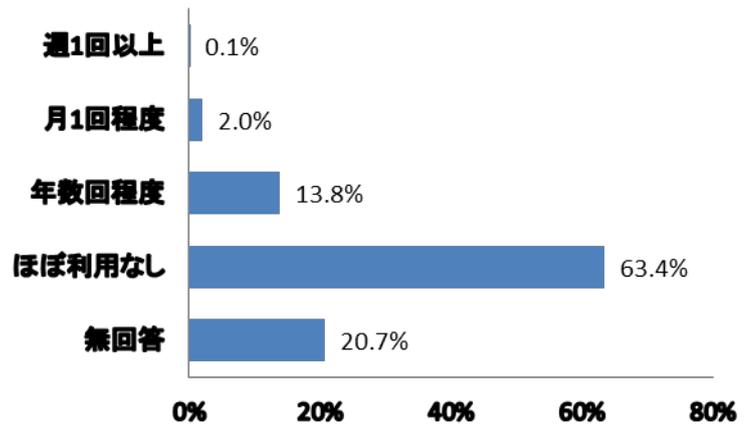


⑩環境衛生施設の利用状況

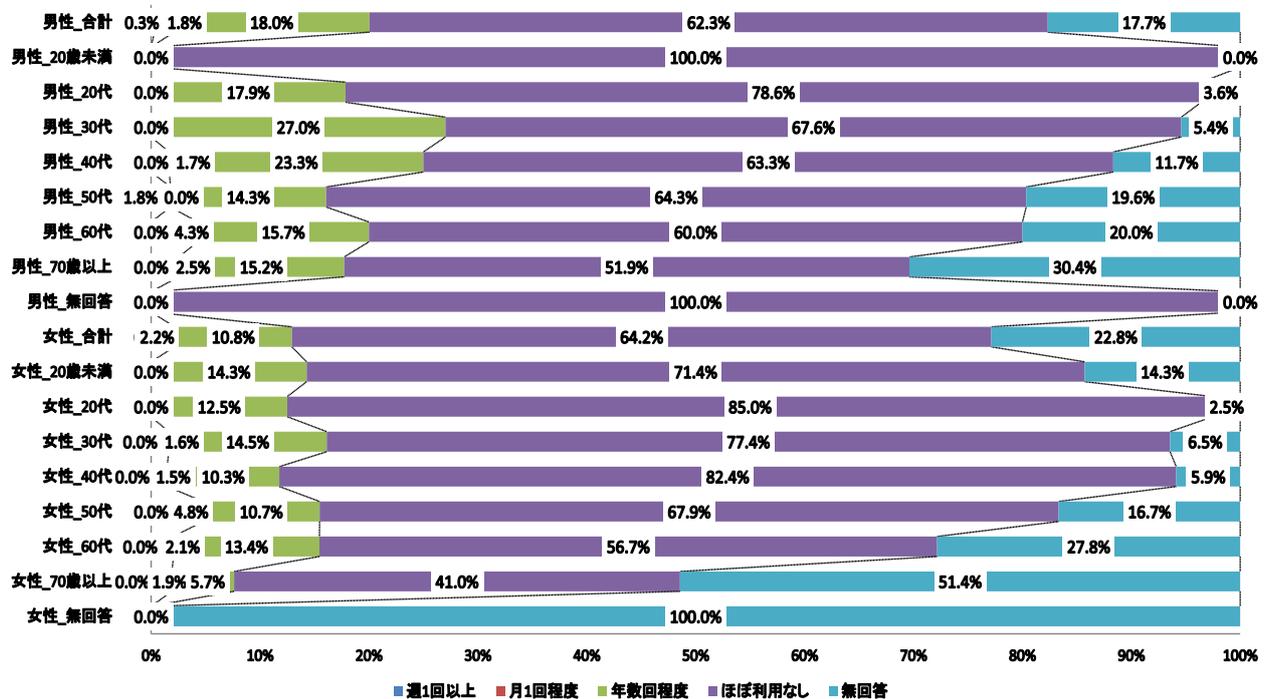
最も多い回答はほぼ利用なしの63.4%となっています。

最も少ない回答は週1回以上の0.1%となっています。

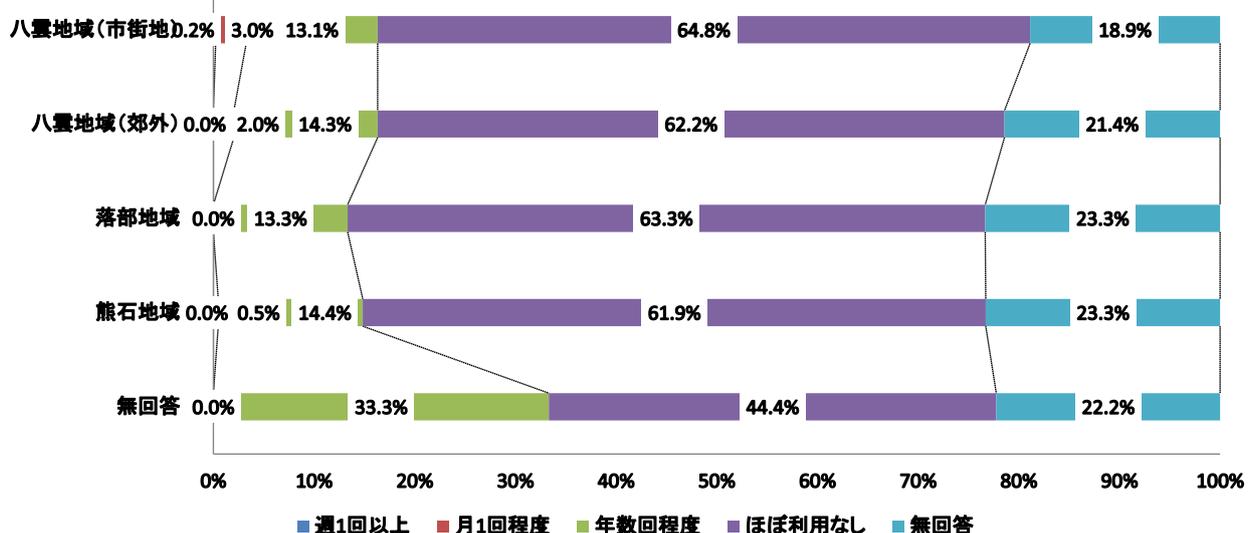
またどの年齢でもほぼ利用したことがありません。



【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】

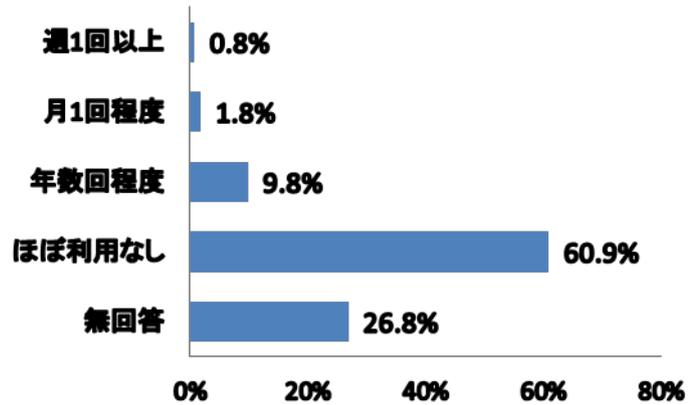


⑪ その他の施設の利用状況

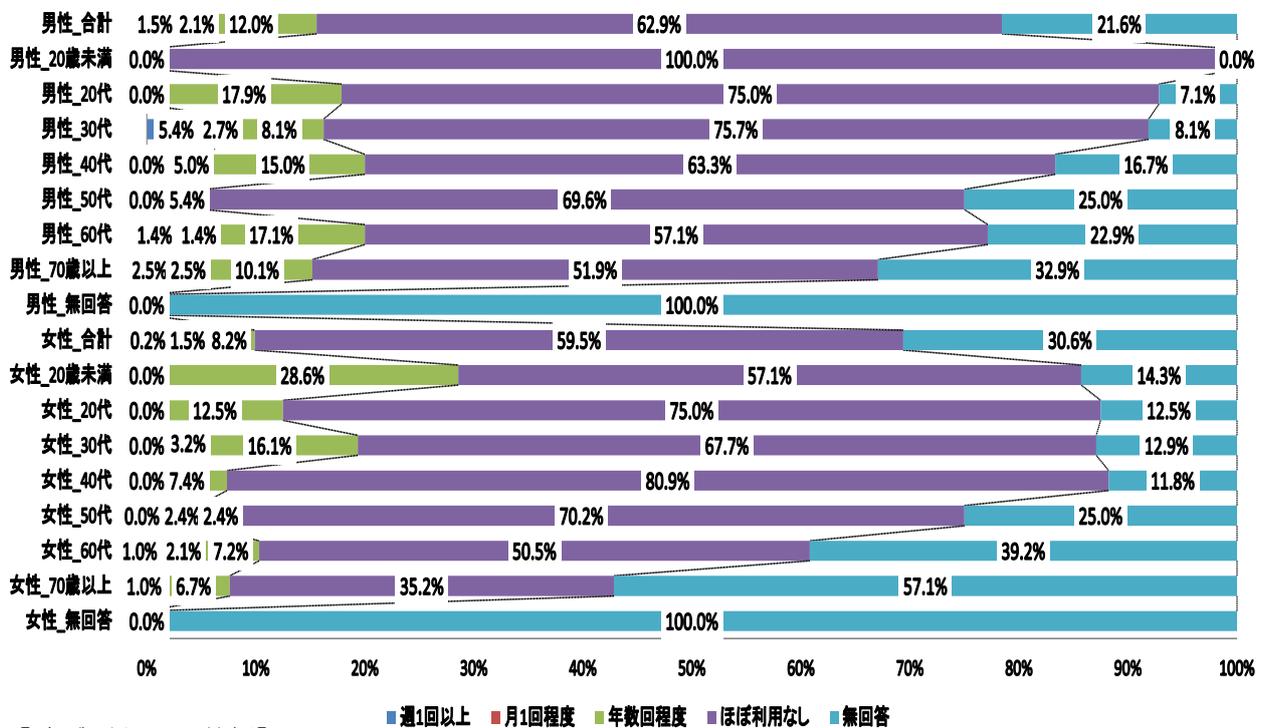
最も多い回答はほぼ利用なしの60.9%となっています。

最も少ない回答は週1回以上の0.8%となっています。

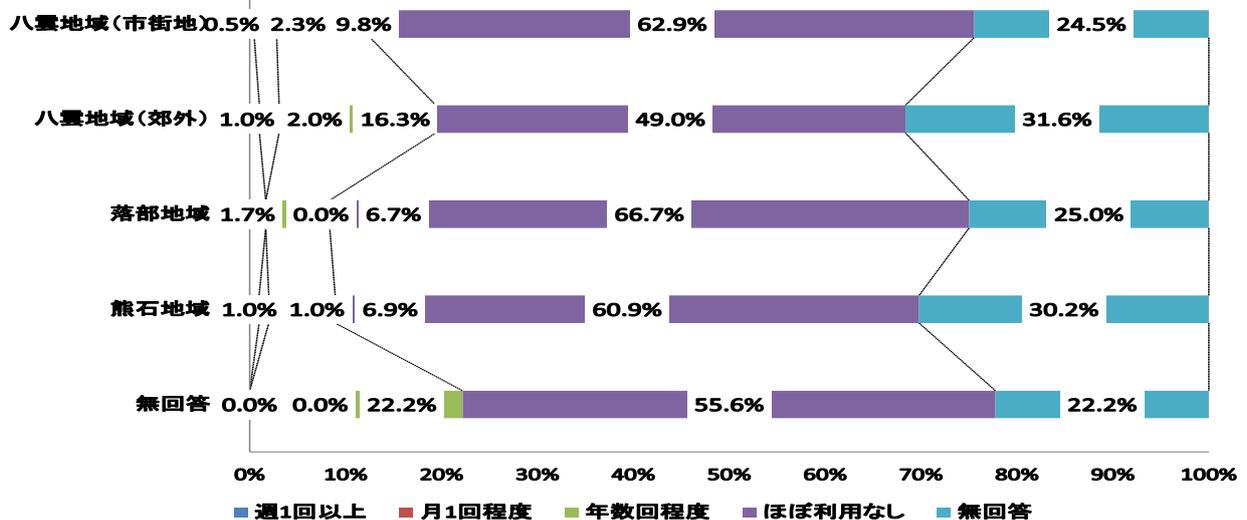
また女性の20歳未満では月1回程度利用している割合が28.6%となっています。



【性別・年齢別クロス分析】



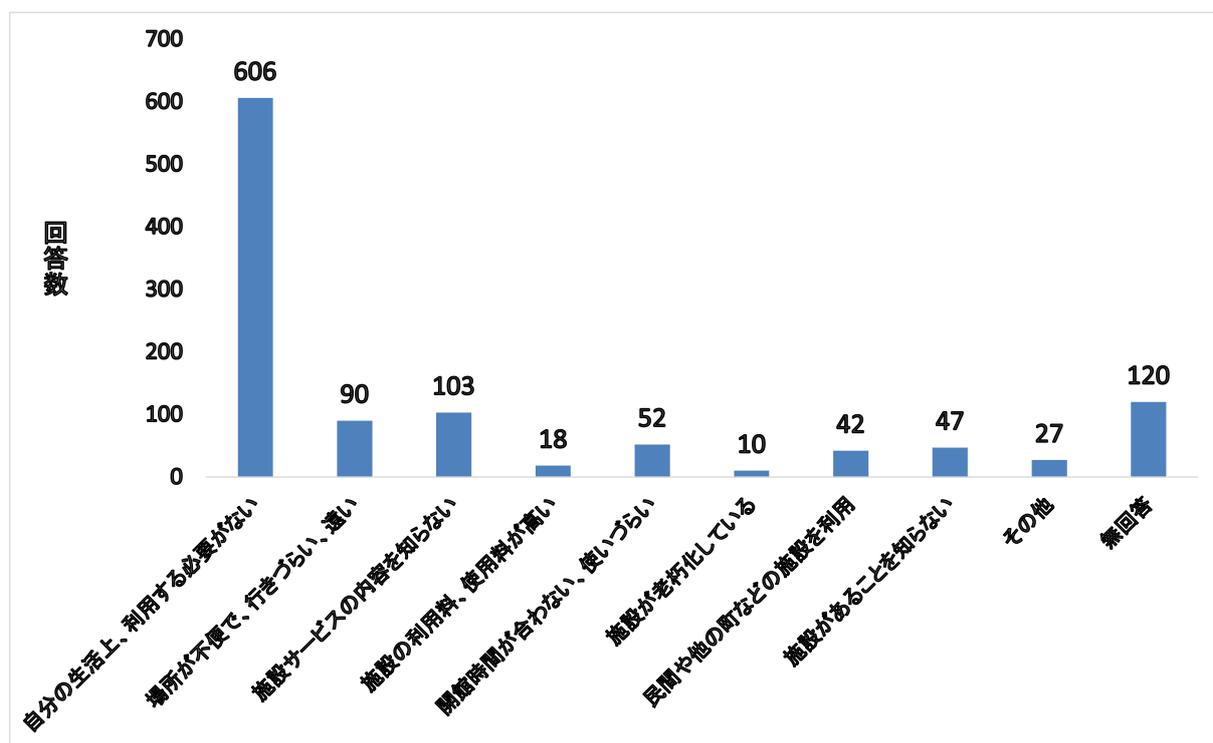
【地域別クロス分析】



「年数回程度」「ほぼ利用がない」を選択された方の“利用しない理由”

自分の生活上、利用する必要がない	74.1%	場所が不便で、行きづらい、遠い	11.0%
施設サービスの内容を知らない	12.6%	施設の利用料、使用料が高い	2.2%
開館時間が合わない、使いづらい	6.4%	施設が老朽化している	1.2%
民間や他の町などの施設を利用	5.1%	施設があることを知らない	5.7%
その他	3.3%	無回答	14.7%

※回答は複数回答可としていますので、回答割合の合計は100%を超えています。



施設の利用状況が少ない理由については、多くの方が「自分の生活上、利用する必要がない」を挙げています。

一方で、回答者の1割以上の方が「場所が不便、遠い」や「サービス内容を知らない」を挙げていることから、利用状況の向上を図る方法の一つとして、施設の立地や移動方法の見直し、サービス内容の周知といった取組が考えられます。

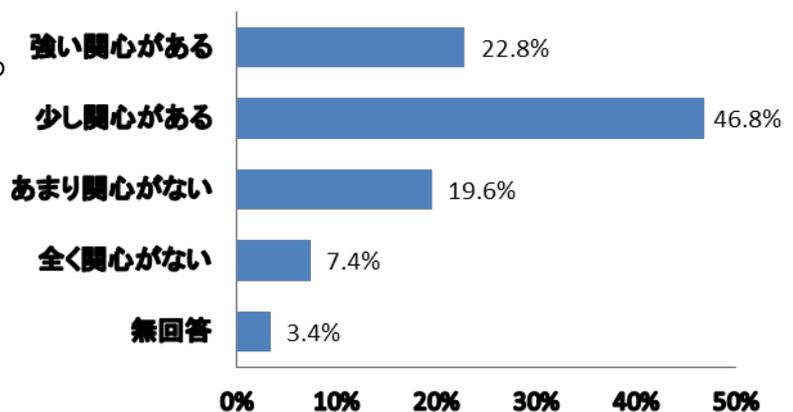
また、「その他」の理由としては下記のようなものがありました。

- ・特定の人が使用し行きづらい雰囲気がある
- ・まわりに親しい友達がいないので1人では行きづらい
- ・高齢で利用できない

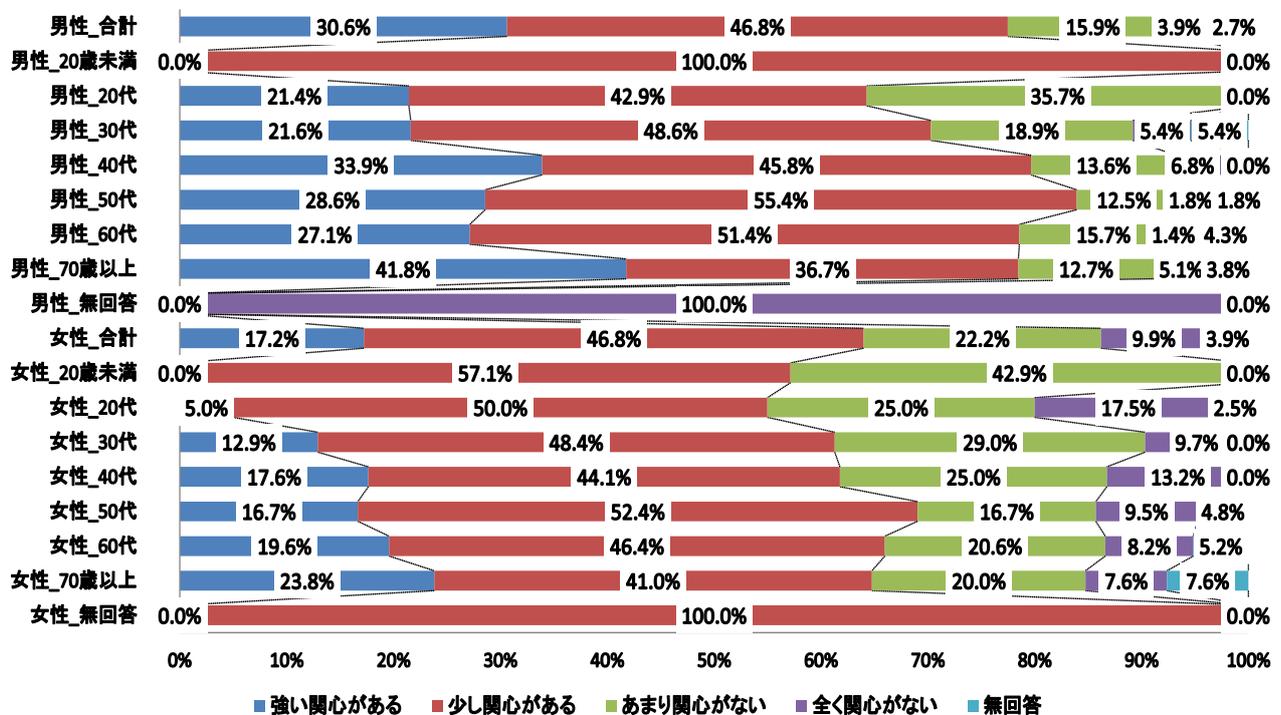
(5) 公共施設の更新に係る財政負担への関心度

「強い関心がある」「少し関心がある」の合計でおよそ7割が関心を持っていることがわかります。

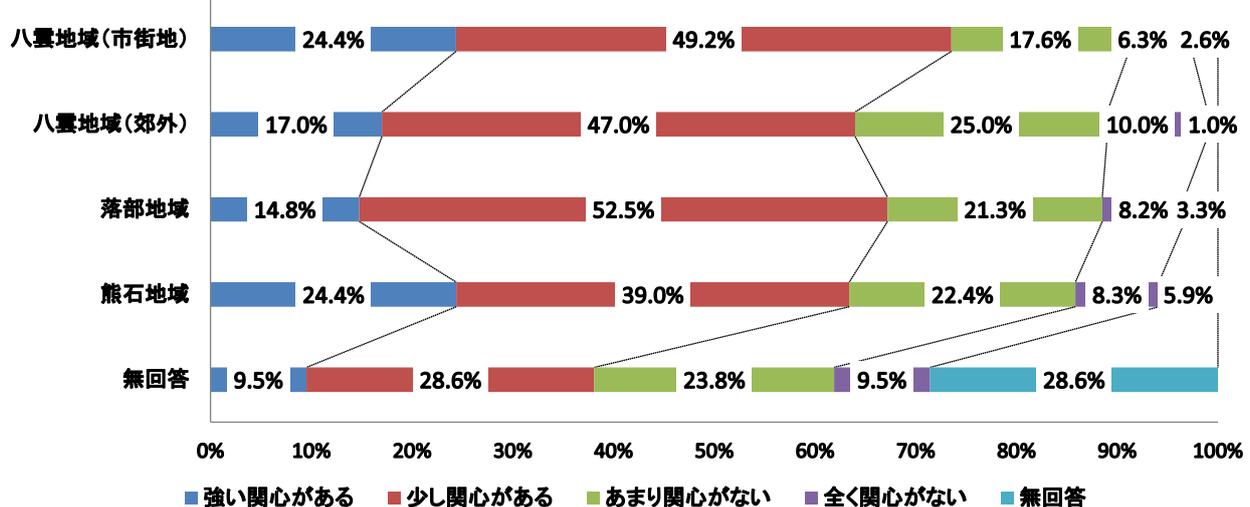
またどの地域でもおよそ6割以上が関心を持っていることがわかります。



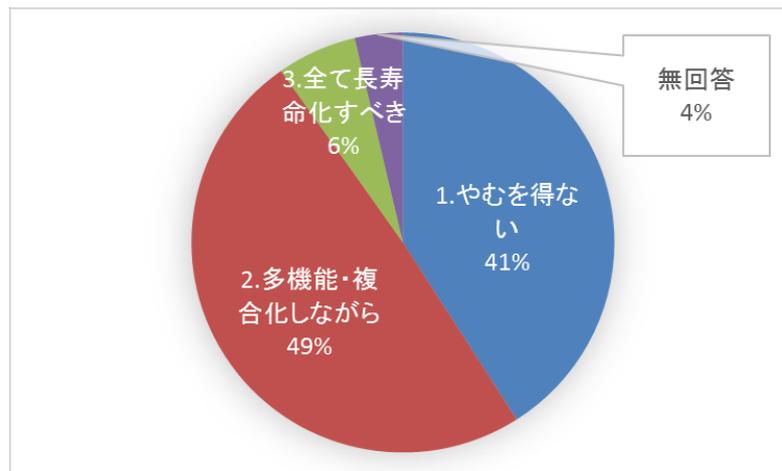
【性別・年齢別クロス分析】



【地域別クロス分析】



(6)公共施設の最適化



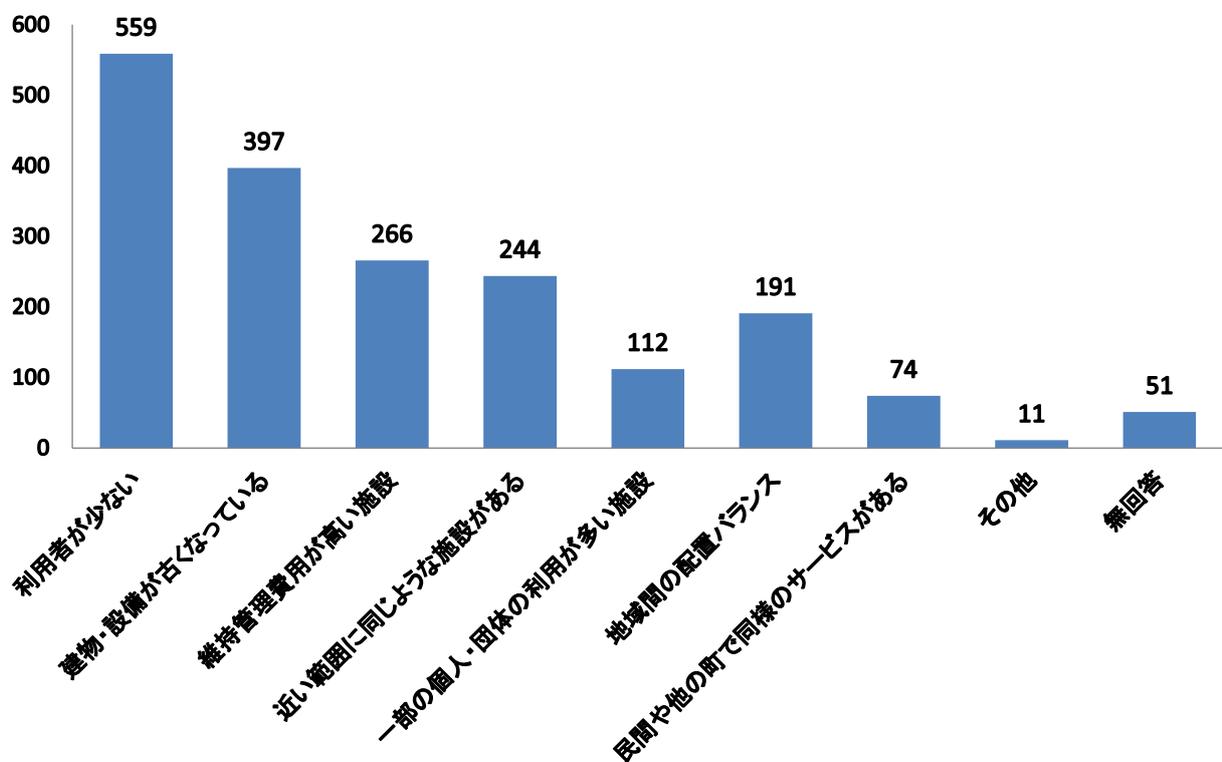
公共施設の統廃合の必要性については、約4割の方が「統廃合はやむを得ない」、約5割の方が「多機能・複合化しながら推進すべき」と回答しています。

回答者全体の約9割の方が統廃合を必要と考えながらも、そのうちの半分以上の方が、多機能化や複合化を伴う統廃合を望んでいることがわかります。

(7)公共施設の統廃合の際の考慮すべき点

利用者が少ない	68.3%	建物・設備が古くなっている	48.5%
維持管理費用が高い施設	32.5%	近い範囲に同じような施設がある	29.8%
一部の個人・団体の利用が多い施設	13.7%	地域間の配置バランス	23.3%
民間や他の町で同様のサービスがある	9.0%	その他	1.3%
無回答	6.2%		

※回答は複数回答可としていますので、回答割合の合計は100%を超えています。



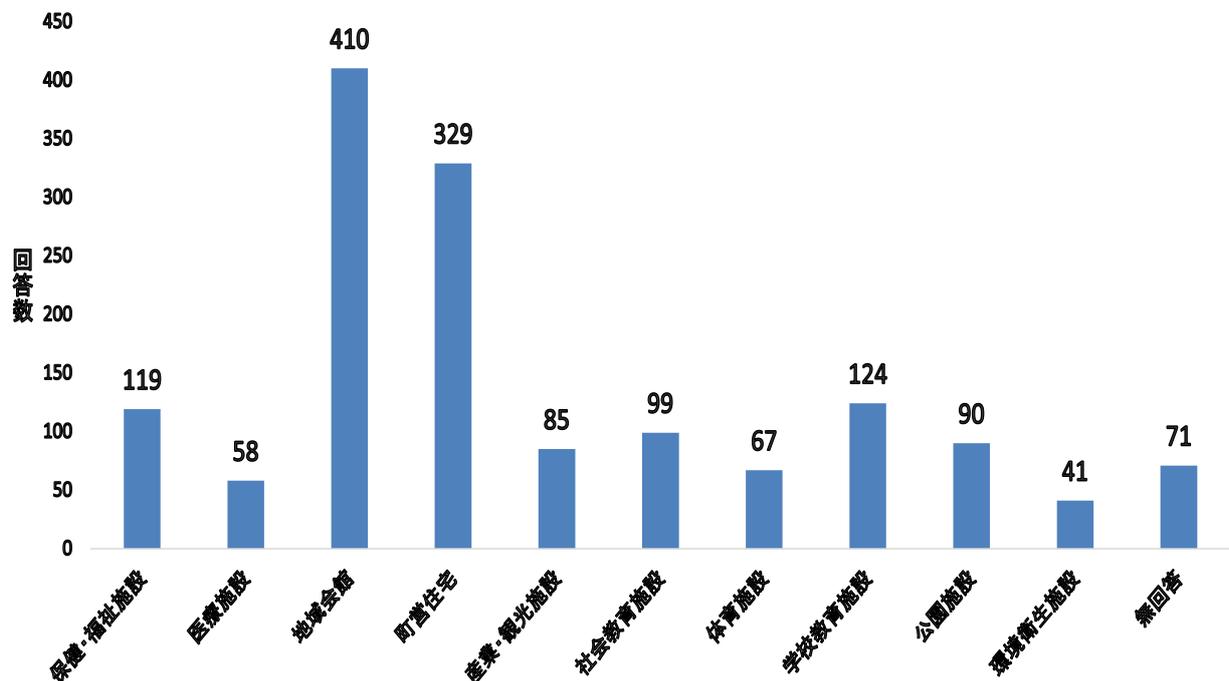
公共施設の統廃合を行う際に考慮すべき点としては、「利用者数が少ない」という回答が最も多く、回答者の7割近くの方が利用状況を重視していることがわかります。次いで「建物が古い」、「維持管理費用が高い」、「近くに同じような施設がある」、と続いています。

また、「その他」として、「赤字の施設」であることや、交通の便、防犯上の観点などの回答がありました。

(8) 統廃合の対象施設

保健・福祉施設	14.5%	医療施設	7.1%	地域会館	50.1%
町営住宅	40.2%	産業・観光施設	10.4%	社会教育施設	12.1%
体育施設	8.2%	学校教育施設	15.2%	公園施設	11.0%
環境衛生施設	5.0%	無回答	8.7%		

※回答は複数回答可としていますので、回答割合の合計は100%を超えています。



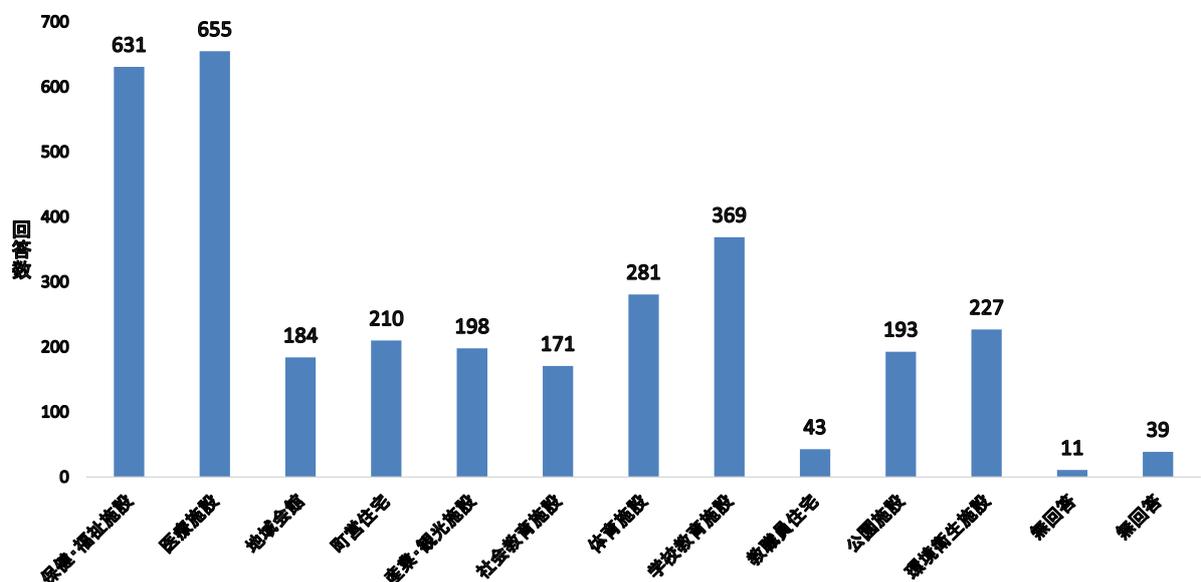
施設分類ごとに見ると、特に「地域会館」と「町営住宅」について、統廃合をしたほうが良いと考える方が多いことがわかります。これらの施設は箇所数も多く、古くなっている割合も高いため、前述の“公共施設の統廃合の際の考慮すべき点”における「建物・設備が古くなっている」、「近い範囲に同じような施設がある」、「地域間の配置バランス」の観点から、上記のような結果になっているものと考えられます。

逆に施設数が限られている「医療施設」や「体育施設」、「環境衛生施設」は統廃合の対象にはなりにくいことが読み取れます。

(9) 存続させたい施設

保健・福祉施設	77.1%	医療施設	80.1%	地域会館	22.5%
町営住宅	25.7%	産業・観光施設	24.2%	社会教育施設	20.9%
体育施設	34.4%	学校教育施設	45.1%	教職員住宅	5.3%
公園施設	23.6%	環境衛生施設	27.8%	その他	1.3%
無回答	4.8%				

※回答は複数回答可としていますので、回答割合の合計は100%を超えています。



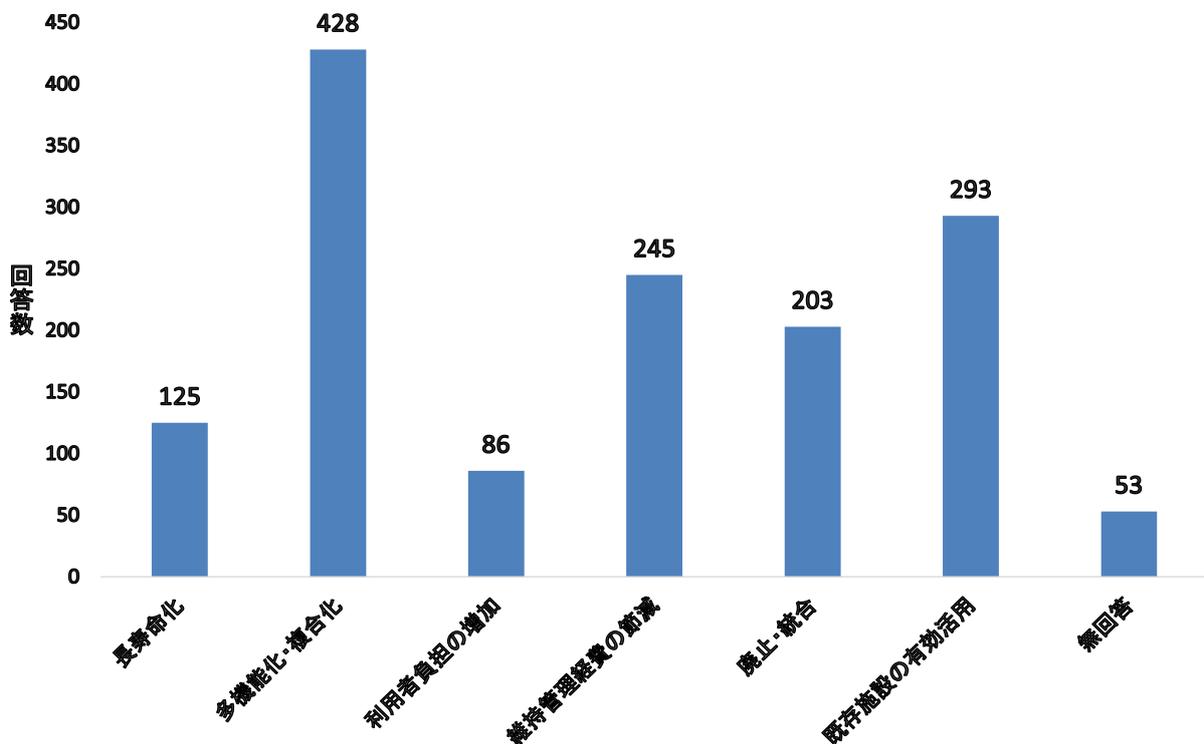
前述の“統廃合の対象施設”とは対照的に、統廃合の対象とせず存続を望まれる施設としては、「医療施設」と「保健・福祉施設」が抜きんでて多くの回答を得ています。これらの施設は機能的な側面及び社会的な将来予測から回答が多かったものと推測できます。

ちなみに、「学校教育施設」は、本問では回答の多い順では3番目にありますが、一方で前述の“統廃合の対象施設”において統廃合をした方が良い施設としても一定数の回答があり、学校教育施設の今後の在り方を検討するうえでは考慮すべき点と言えます。

(10)今後の重要な取り組み

長寿命化	15.3%	多機能化・複合化	52.3%
利用者の負担の増加	10.5%	維持管理経費の節減	30.0%
廃止・統合	24.8%	既存施設の有効活用	35.8%
無回答	6.5%		

※回答は複数回答可としていますので、回答割合の合計は100%を超えています。



今後の公共施設に対する取組については、回答の多い順に「多機能化・複合化」、「既存施設の有効活用」、「維持管理経費の節減」、「廃止・統合」となっています。

全体的には、経費の節減を意識しながら既存施設を有効活用しつつ、施設によっては多機能化・複合化、統廃合の見極めをしていくことが望まれていることがうかがえます。

(11)自由回答

ここでは、アンケートに記載された様々なご意見を大まかに分類し、そのうち代表的な回答を抜粋して掲載します。

●全体的な方針について

- ・雇用のある施設維持費用＞利用状況の施設、そこに必要な施設、そうでない現状の施設等総合して判断してほしい。
- ・市民の様々なニーズすべてに応えるのではなく、整えるには多くの費用がかかると市民に広報するべき。
- ・「福祉の町」にするのか「観光の町」にするのか「自然エネルギーの町」にするのか、又はその他の町にするのか、まずビジョンを決め、それに合わせて公共施設を改築するなり、統廃合するなり考えて欲しい。

●施設の配置について

- ・役場近くにある公共施設への交通の便を良くし、利用の少ない離れた地域の施設を減らしてもいい状況を作ってはどうか。
- ・市街地の人だけでなくほかの地域の人でも利用できる方法や、地方の会館での出前サービスなどがあれば、市民が同じように恩恵を受け利用の頻度も上がるのではないか。
- ・同じ目的で複数の施設を維持するのではなく、一つ立派な施設を用意し駐車場の設備やバスでの送迎対応などをしてはどうか。

●利用量の増加、促進について

- ・公共施設の存在やサービス内容を知らない人も多いので利用者が増えるきっかけ作りがもっと必要。
- ・例えば、平日利用の多い施設（病院）、休日利用の多い施設（体育館）駐車場など、お互いの利用できるものを模索する。
- ・公共施設の休館日が町内一斉に月曜日である必要が感じられない。利用しやすいように改善すべき。

●老朽化した建物について

- ・古くて使わないまま放置されている建物は見苦しいものがあるので早期に対処してほしい。

●施設分類別の要望等

行政施設

- ・役場の老朽化が心配。熊本・大分県の地震で公共施設が機能せず、住民の悲惨又職員の皆さんの苦勞他にしっかり維持管理をお願いしたい。

保健・福祉施設

- 小さな赤ちゃんの為に授乳室があると便利だと思う。特にあびあやシルバープラザなど
- 高齢者を社会的に生かせる施設・設備を整えることで、子育て支援や学生等と高齢者が一体となって生活できる施設充実の検討が必要である。
- 老健施設と保育園、幼稚園の統合・体育施設（プール）については、多く子ども達が利用できる環境を整備してほしい。遠距離児童生徒の送迎・経費削減は最重要だと思いますが、安全に関わることは優先して改善してほしい。
- 障害の子を安心してあずかってもらうことのできる施設も1コは作ってほしい。
- 保育園が少ない。

医療施設

- 病院も損失をだしていて医師の居住にかけて、さらに一般の人が税金を払っているのにはあまり賛成できない。
- 医療施設について町病に出費が多いと思う。
- 病院は民間に委託したほうが良いのでは。

地域会館

- 地域のシンボルであり、高齢者の憩いの場でもあるため地域会館は必要。
- 会館であれば地区の老人クラブがない等、利用者や頻度を吟味すべきだが、防災の点を考えるとやみくもに効率化のみ追及できない面がある。

町営住宅

- 町営住宅の入居の条件を少し緩和してほしい。

産業・観光施設

- 利用者増加、施設の有効利用のためのアピールを強化するなどが望ましい。
- パークゴルフ場横のチーズをつくる工場について、利用者が限定され、土・日・祝日は閉館しており、興味はあるのに利用できない。早急に改善が必要な施設だと思う。やり方次第で、観光名所（体験型）の1つにもなりそうなのに、もったいない。

社会教育施設

- 各地域の会館維持も大変なので、公民館、シルバープラザ、町民センターなどを大いに利用したら良い。八雲町民はスポーツ、文化面に熱心なので、それらの施設は現状維持できたら良いと思う。
- 図書館の開館時間が遅すぎる。図書館・プールをもっと使いやすくしてほしい。
- 出雲町の町民センターの利用度が少ないように思う。常時利用していると施設も長持ちすると思うので、管理人をきちんとおいて利用度を上げてほしい。
- 公民館の建て替え、多機能化が以前より必要だと思っていた。一番多く利用されていると思われるが、特に調理室など古くて狭い。

- ・落部方面や黒岩方面に巡回バス等があると、子供たちも習い事や、少年団や公民館等で行う行事にも参加しやすいのでは。
- ・図書館にカフェを併設するなどして、イメージをよくして、人の集まる場所をつくってほしい。

体育施設

- ・町民プール使用障害手帳を持っている身だがいざ利用すると細やかな部分の不便さ、不安が募り利用をやめてしまった悲しさが残る。
- ・プールに通うことがありますが開館日数、時間が短いので、使用時間の見直しをできないものか。
- ・パークゴルフ場3施設ありますが施設毎の料金を設けてほしい。パークゴルフ場の使用料、80才以上の高齢者に割引を。
- ・近隣の市町村に比べて、スポーツ施設の利用料が高額だと思う。町民割引等、町民が頻繁に施設を利用しやすくなるよう検討してほしい。

学校教育施設

- ・学校を存続させる費用を考えればスクールバスを出したほうがいいのでは。
- ・地域の活性化のためには教育施設の充実が不可欠。なんでも統合、廃止ではなくどうしたら残していけるかも検討してほしい。
- ・閉校した後の校舎の利用や教員住宅もPTAの方で使用・借用したい時には利用できないか？また、避難所になっている小学校が閉校しているところはどうしたら良いか。

教職員住宅

- ・教職員住宅は転入してきた教職員が数年で転出するため築数十年経過しても当時のまま使用している場面もある。いっそのこと教職員住宅を全廃して町民用住宅として再スタートさせればといいと思う。
- ・教職員住宅等は民間アパート流用など考えるべき。
- ・教職員住宅は現存するものは最後まで使い、使えなくなったら建て替えよりも民間住宅の借り上げを考えたほうが節約になるのでは。

消防施設

- ・八雲地区は各分団に格納所があり熊石地区にはない。分団車庫の老朽化が進み建て替の時期がきている分団もあるようなので団員の活動時にも利用や待機が出来る格納所があればよい。

公園施設

- ・公園のトイレをもう少しきれいにしたほうが利用者も増えると思う。

●その他

- 健康増進の町・八雲として健康にかかわる施設整備、予算を充実し高齢化対策を進めるべき。
- 使用料金の無料化などは必要なし、使用する人は責任を持たせることが重要だと思う。使用後は必ず清掃するなどなるべく清掃人などの無駄をなくすように考えること。
- 熊石地域はどこも、古くなっており、合併した時よりさびれてしまったような気がする。建物もなくなってしまうと集まる場所も確保できなくなる。財源不足問題もあるが、高齢者など、地域住民のいこいの場をできる限り存続させたい。
- だんだん出かけられなくなる方もいるので「出かける行政」の展開を望みます。
- 維持管理経費については、高齢者の協力を得たらと思う。

●他自治体の参考事例

- 20年以上北広島市に住んでいたが北広島市はとて面白い判断をしてきたと思う。ぜひ視察に行ってほしい。
- 最近夕張市を通りました。施設を見て考えさせられたばかりです。必要最小限を維持存続されたし。
- 道東の中標津町の『しるべっと』という施設が、とても良い。図書館と文化施設が、合体したもので、図書館に足を運んだ人が、偶然、催し物と遭遇し、色々見て帰ったりできる。だから、何をやっても利用率、来客者が多い。